

# トレーニング ペーパー<sup>®</sup>

小学6年 社会(見本)



4月

教育社

# 4月のトレーニングペーパー

小6社会



今月も楽しく計画的に学習していこう！

♥ 読みもの

今月は、今から2000年近く前の、<sup>よしのが</sup>吉野ヶ里の人びどのくらしのようすだよ。

♠ 学習日

学習の日は、全部で11日。最後の11日めは、まどめの日だよ。学習のまとまりごとに、復習テストが3回入っているよ。学習が身についたかどうか、<sup>ちようせん</sup>挑戦してみよう。

◆ もっとの日

11日の学習日のあとは、もっと学習しようのページだよ。今月は、鉄の農具をとりあげて、歴史をおってみたんだ。題して「鉄の農具」。がんばって、チャレンジしよう。

♣ 今月の一言

トレーニングペーパーは、練習帳です。問題がわからなかったら何度でも説明にもどって、どんどん解いていこうね。

	学習する日(予定)	学習した日
第1日	月 日( )	月 日( )
第2日	月 日( )	月 日( )
第3日	月 日( )	月 日( )
第4日	月 日( )	月 日( )
第5日	月 日( )	月 日( )
復習をしよう	月 日( )	月 日( )
第6日	月 日( )	月 日( )
第7日	月 日( )	月 日( )
第8日	月 日( )	月 日( )
復習をしよう	月 日( )	月 日( )
第9日	月 日( )	月 日( )
第10日	月 日( )	月 日( )
復習をしよう	月 日( )	月 日( )
第11日	月 日( )	月 日( )
もっと学習しよう	月 日( )	月 日( )

終わったら色をぬってね



ぶたい  
歴史の舞台①

よしの が り い せき  
吉野ヶ里遺跡の  
大発見！



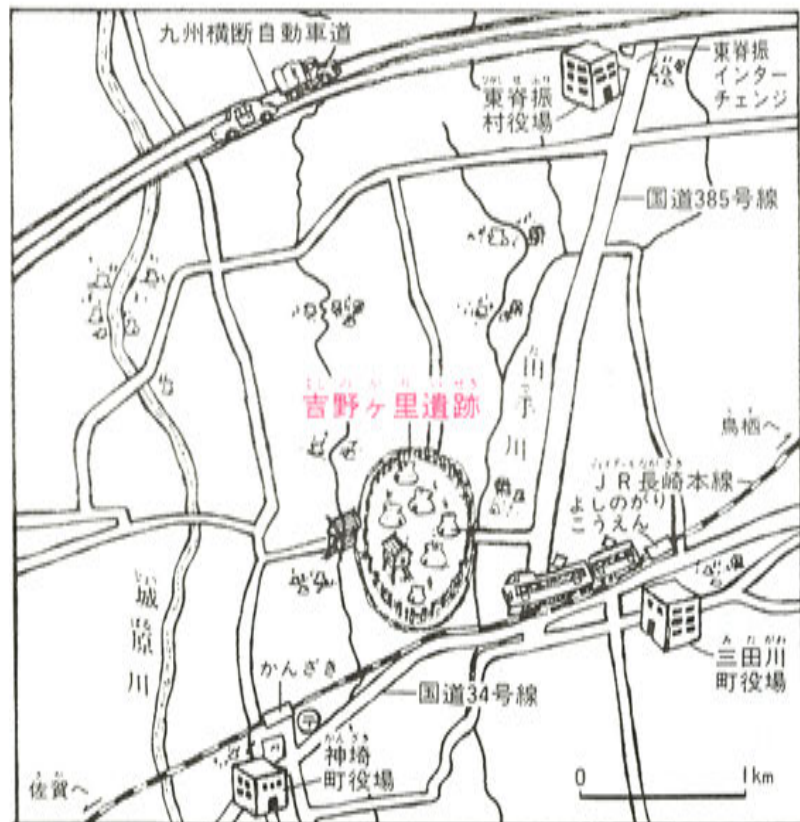
さが  
(佐賀県)

3年生のときに、今から100年くらい前からのくらしの移りかわりを、学習したね。それよりずっと前の、わたしたちの遠い祖先は、どんなくらしをしていたんだろう。むかしのくらしを調べに、佐賀県の吉野ヶ里遺跡に出かけたんだ。ここには、今から2000年前の村のようすが復元してあるんだ。吉野ヶ里遺跡にいと、なんだか自分も、2000年前にもどった気がしてきたよ。

さあ、きみも、2000年前の吉野ヶ里に、出かけてみよう！



交通 ジョウツウ J R 長崎本線 ジョウシキホンセン 神埼駅 カンサキ から吉野ヶ里公園 ヨシノガリコウエン 駅下車。徒歩約30分、タクシー約5分。本数は少ないが、神埼駅からは「吉野ヶ里遺跡入り口」行きのバスも出ている。



## となりの村とのはげしい戦い

ここは、2000年前の吉野ヶ里の村。武器を手にした村びとが、100人ぐらい、広場にひしめいている。武器は、弓矢と剣だ。矢の先には、とがった石のやじりがついている。剣は、鉄ではなく青銅（銅とすずの合金）製の。青銅の金具をつけた、木のたてを持ったものもある。よろいやかぶとは、だれもつけていないようだ。

「西の方から、敵が来たぞ！」物見やぐらの上から、見張りがさげんだ。髪かざりをつけた村のかしらの合図で、村びとは、敵をむかえうつために、西の門から飛び出していった。

村は二重のほりに囲まれている。外がわのほりは、深さ3メートル、はば約5、6メートル。その外がわには、2メートルの高さで土が盛られ、木のさくがはりめぐらされている。出入り口として、木の門が設けられている。

戦いが始まった。敵は、雨のように矢をあびせながら、じりじりと前進してくる。敵との距離がちぢまり、たがいにいりみだれての戦いになった。矢をうけてたおれたものは、剣でとどめをさされる。敵のなかには、なんと女性もまじっている。

村びとは、必死に敵を防いだ。そのうち、敵のかしららしき男が、矢をうけてたおれた。敵は、かしらをかばいながら、ひきあげていく。どうやら、吉野ヶ里の人びとは、村を守りきったようだ。草むらには、敵味方の戦死者や傷ついたものが、何人が横たわっていた。つかまった敵のものは、どれいにされるといふ。

戦死者は、ラグビーボールのような形をした「かめ棺」におさめて、ほうむられた。戦いのさしずをする役のものは、ほりに囲まれた、土を盛った丘のような場所に、ほうむられた。ふつうの村びとは、そのとなりの平地に、まどめてほうむられた。



武そうした村びと

## 吉野ヶ里の村のくらし

戦いがおさまったところで、村のようすをながめてみよう。

吉野ヶ里の村は、北に山地をのぞむ、日あたりのよい台地上にある。村のまわりは

森で、川ぞいの低地には、水田がつくられている。村びとは、農業をしてくらしているようだ。

建物は、屋根は草ぶき、ほかの部分は木でできている。家は何十戸もあり、どれも数人がねられるくらいの大ききで、2本の柱でささえられている。形は、ちょうど、むかしのわらぶきの民家の屋根の部分だけを、地面に直接おいたみたいだ。床の高い、手すりつきの縁をめぐらしたりっぱな建物は、村のかしらの住まいだ。ほりの近くに建つ物見やぐらは、高さ10メートルはあるだろう。ほりの外には、床の高い倉庫が、10以上建っている。とれた稲をたくわえておくのだそうだ。

村では、女性たちが、うす茶色の器にいれた米や貝を火にかけたり、石の道具で木の実をくだいたりして、食事のしたくをしている。機織りをしている女性もいる。男性は何をしているのかと見れば、型に青銅を流しこんで、武器をつくっている人がいた。

吉野ヶ里の人びとの服そうは、なかなかおしゃれだ。ゆったりしたワンピースを着て、こしのあたりを、ベルトのようなひもでしばっている。布地は絹か麻で、紫や赤にうすく染めたものもある。女性は、着物にえりをつけたり、色とりどりの石をつないでつくった、首かざりや髪かざりをつけたりしている。

それにしても、さきほどのはげしい戦いには、おどろいた。どうして、この、農業でくらししている平和そうな村で、はげしい戦いが起こるんだろう？

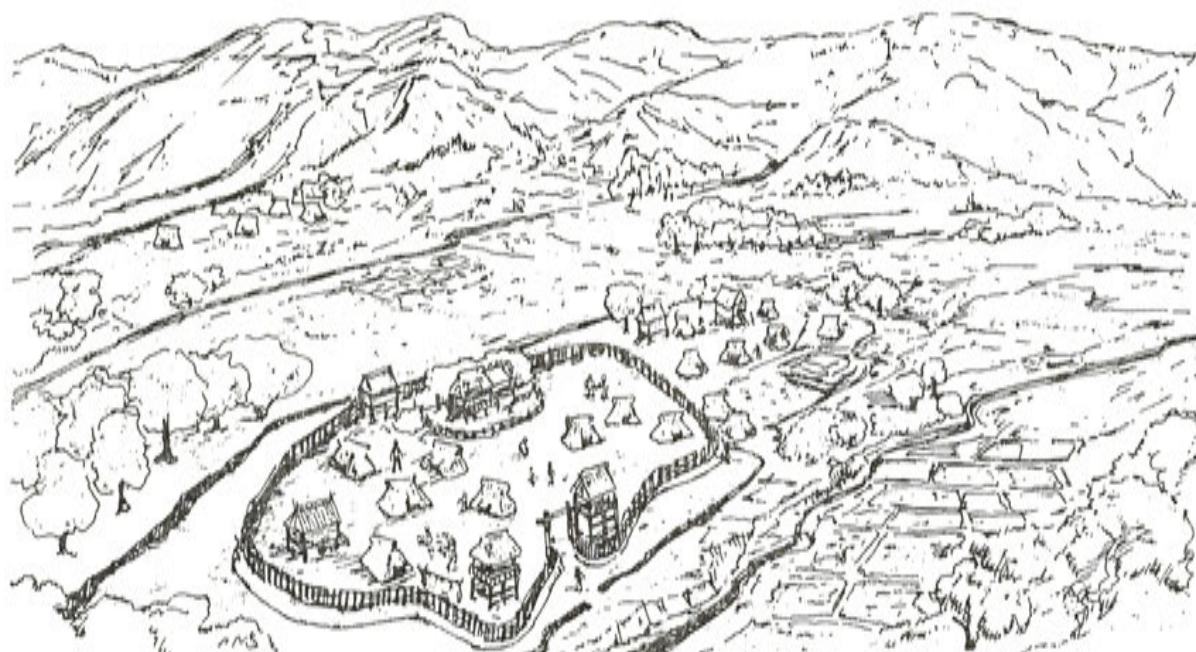


女性の服そう

## 2000年のときをこえて

このへんで現在へもどって、2000年前の吉野ヶ里の村のようすが、どのようにしてわかってきたか調べてみよう。

朝鮮半島や中国に近い九州北部は、もともと遺跡がたくさんあるところだよ。佐賀県の神埼町と三田川町にまたがる工業団地が計画されたとき、そこにある吉野ヶ里遺跡がこわされてしまう前に、本格的な発掘を行うことになったんだ。発掘は、1986年（昭和61）から始まったよ。これが、とんでもない大発見の連続だったというわけさ。



吉野ヶ里の村のようす（想像図）

吉野ヶ里遺跡からは、今から1万年以上前の旧石器時代<sup>きゅうせきじだい</sup>というところから、1000年前ごろまでの、多くのものが発見されたよ。なかでもとくに大きな発見が、弥生時代<sup>やよい</sup>という、2000年前後むかしのものに多かったんだ。なにしろ、日本ではじめてという発見が、いくつもあったんだから。発掘は3年間ほど続き、工業団地をつくる計画は中止になって、遺跡としていつまでも守っていこうと決まったんだ。

遺跡の発掘調査によって、弥生時代の吉野ヶ里の村は、村を囲むほりの長さが2.5キロメートル、人口は多いときで1000人以上だったと、これまでのところ明らかになっているんだ。そして、人びとのくらしのようすも、発見されたものを調べることによって、少しずつわかってきたんだ。

こうして、発見されたむかしのものをもとに、むかしのくらしや世の中のようすを考え、よみがえらせていく学問を、考古学<sup>こうこがく</sup>というよ。

## 「むら」から「くに」へ

今からおよそ2300年前、米づくりが始まると、農業を協力して行うために、人びとの住まいの集まりである「むら」が、各地にできたんだ。そして、戦いをくりかえしながら大きな「むら」にまとまり、さらに大きな「くに」ができていったのが、弥生

時代だよ。吉野ヶ里の村は、この、大きな「むら」か、「くに」だったと考えられているんだ。この「くに」が、さらに1つにまとまったのが、日本の国というわけさ。

吉野ヶ里の村があった2000年前は、まさに「戦いの時代」だったんだね。じゃあ、吉野ヶ里の村は、それからどうなっていったんだろう。

吉野ヶ里の村については、2000年前より少しのちの、1700～1800年前までのようすは、わかってきてるんだ。だけど、どのくらいの地域ちいさをしたがえていたとか、いつごろまで栄えていたとか、まだまだわからないことも、たくさんあるんだ。

ところで、きみは「邪馬台国やまたいこく」という名まえを聞いたことがあるかい？ トレペの今月号でも学習するけど、中国の歴史の本に登場する、日本にあった大きな「くに」の名まえだよ。ところが、これがなぞの「くに」で、1700～1800年くらい前、九州か大和やまと（奈良県）あたりにあったらしいんだけど、場所は、まだわかっていないんだ。

吉野ヶ里の村のようすに、中国の本に登場する邪馬台国とにている部分があったらしいことから、はじめは、吉野ヶ里遺跡は邪馬台国のあとだと思った人も、多いんだ。でも今では、どうやらそうではないという考えに、おちつきつつあるよ。

吉野ヶ里遺跡では、復元された建物のほか、見つかったものの一部も、展示室で見学できるよ。そして、これからも調査は続けられる予定になっているんだ。これから、どんなものが見つかるか、それによって、どんなことがわかるか、楽しみだね。



左の地図は、弥生時代についての大きな発見があった場所の、一部を示しています。弥生時代の遺跡は、まだほかにも、たくさんあります。

きみの住んでいる近くにもないかな？ 調べてみよう。

## 歴史の舞台★これからの予定

今月号の「歴史の舞台・吉野ヶ里遺跡の大発見！」を読んだ感想は？ きみにも、2000年前の日本をのぞいた気分になってもらえたかな？

来月号から11月号までも、トレペのはじめでは、「歴史の舞台」として、全国各地の、歴史を伝えるものをたずねていくよ。

どこへ、どんなものをたずねていくかは、下の表と地図の通りだよ。きみの住んでいるところの近くへ行くかもしれないね。

月	タイトル（かっこ内は、たずねるところ）
5	・下野国分寺跡をたずねて（栃木県国分寺町）
6	・祇園祭り（京都府京都市）
7	・海外に開かれた窓・長崎（長崎県長崎市）
8	・東海道を旅する（東京都から京都市まで、東海道にそって）
9	・横浜港のあゆみ（神奈川県横浜市）
10	・「坊っちゃん」の世界へ（愛媛県松山市）
11	・空しゅうと学童疎開（富山県富山市）

5月号から11月号までの予定（つこうで一部かわることもあります。）

「歴史の舞台」でとりあげるものは、学習のなかにも出てくることが多いよ。だから、毎月の学習を始める前に読んでおくと、きっと役にたつよ。

「歴史の舞台」は11月号までだけど、12月号からは新しいシリーズが始まるから、楽しみにしててね。

さあ、  
今月の学習を  
始めるよ！







歴史を学ぶ前に

## 歴史を伝えるもの

● 6年生に進級おめでとう。小学校の最高学年になった気持ちは、どうですか。さあ、トレペの第1日だよ。はりきってスタートしよう。

5年生では、農業・水産業・工業や運輸・通信などの産業とわたしたちのくらしの結びつきや、日本の国土の特色を学習したね。

6年生では、はじめに日本の歴史を学習していくよ。歴史というのは、むかしから現在にいたるまでのものごとの移り変わりのことだよ。

きみの身のまわりをさがしてみよう。むかしの人びとがつくったものに、どんなものがあるかな？ きょうは、歴史を伝えているものを調べてみよう。



### ●きょうのテーマ●

歴史を伝えるものを、さがしてみよう。

### 👤 学習しよう！

歴史を伝えるもの

**むかしの人がつくったもの** きみは、博物館や郷土資料館で、右下の図にあるものを見たことがありますか。

やじりは、大むかしの人びとがかりをするとき、矢の先につけて使ったものです。

ねん土を焼いてつくられた土器は、食べものをにた

り、水を入れたりするのに使われました。わたしたちが使っている、お茶わんやなべの大もとにあたりますね。



やじり



土器



また、きみの家の近くには、むかしの人がつくった建物はありますか。たとえば、城<sup>しろ</sup>とか、古い民家とか、お寺、れんがづくりの建物などです。

城は、大名<sup>だいみょう</sup>が、自分の治める土地を守るためのものであり、住まいや政治を行う所でもありました。また、大名が、自分の力を見せつけるものでもありました。



城

こうした道具や建物は、それぞれ、むかしの人がとってたいせつなものでした。

**むかしの人が伝えるもの** 歴史を伝えるものは、道具や建物ばかりではありません。たとえば、街道<sup>かいどう</sup>の道しるべや松並木<sup>まつなみき</sup>、用水路など、自然のけしきと同じようにながめているものにも、むかしの人がつくったものがあります。

むかしの人が書き残した本や手紙も、歴史を伝えるものです。むかしのできごとをきざんだ記念碑<sup>きねんひ</sup>、口ぐちに語り伝えられてきた話もあります。また、祭りや節句<sup>せっきう</sup>などの行事も、むかしの人のくらしや願いを伝えています。

わたしたちの身のまわりには、むかしのことを調べる手がかりが、たくさんあるのですね。これらの手がかりをとおして、これから、日本の歴史を学習していくのです。

🍎 ここまでの学習を、ミニ・トレーニングしておこう。

👁️ ミニ・トレーニング 👁️

答えはきょうの最後のページ

□ [ ] にあてはまることばを、下から選んで書き入れなさい。

- (1) 大むかしの人がつきかきをするとき、矢の先につけたものを [ ] といいます。
- (2) 食べものをにたりするのに使われた、ねん土を焼いてつくった道具を [ ] といいます。
- (3) 大名は、自分の治める土地を守るために [ ] をつくりました。
- (4) 道具や建物だけでなく、むかしの人が書き残した [ ] や手紙、むかしのできごとをきざんだ記念碑なども歴史を調べる手がかりになります。
- (5) わたしたちの身のまわりには、 [ ] を伝えるものがたくさんあります。

【 本 歴史 やじり 城 土器 】

👉 ことば 大名<sup>だいみょう</sup>

広い土地を治めていた武士のかしらで、「殿さま」などとよばれました。

武士とは、700年近くにわたって日本の國を支配していた身分の人たちで、「さむらい」ともいいます。

👉 ことば 街道<sup>かいどう</sup>

むかしの重要な交通路のことです。街道の両がわには、松や杉などが植えられて、松並木<sup>まつなみき</sup>や杉並木<sup>すぎなみき</sup>などがつくられました。

● ミニ・トレーニングの答え合わせをしておこう。ところで、なぜ、わたしたちは、歴史を学習するんだろうね。ちょっと、考えてみよう。



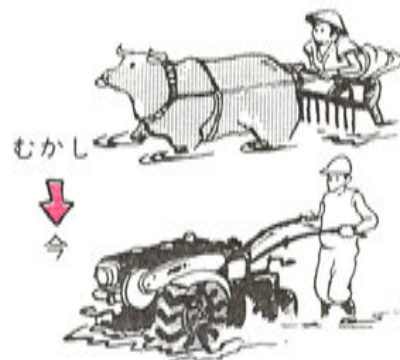
## 考えてみよう？

## 歴史を学ぶ意味

**なぜ歴史を学習するの？** わたしたちは、今の人びとの暮らしを正しく知り、だれもが幸せな暮らしができる世の中を、これから築いていかなければなりません。そのためには、歴史を学習することが必要なのです。

なぜなら、むかしの人びとは、その時代において、より幸せな暮らしをするために、いろいろな努力やくふうをしてきたからです。そして、むかしの人びとはたらしの上に、今の日本があって、わたしたちの暮らしがあるからです。

今の世の中を見つめ、これからよりよい世の中を築いていくために、わたしたちは、歴史を学ぶのです。



これからの社会のために、歴史の学習を役立てるのね。



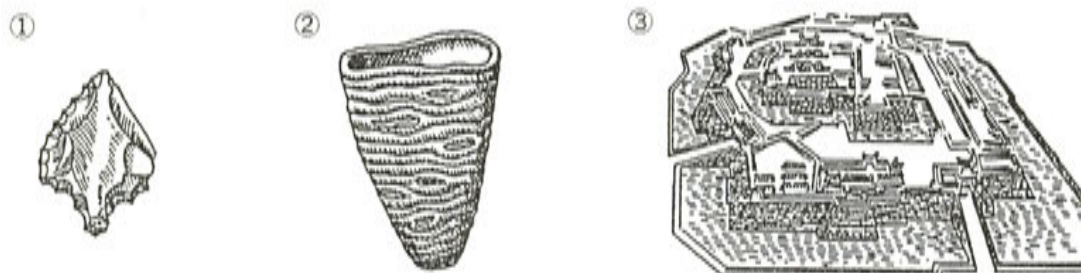
## トレーニング

答えは 1 ページ

- 1 [ ] にあてはまることばを、下から選んで書き入れなさい。
- (1) 道具や建物だけでなく、むかしの人を書き残した [ ] や手紙、むかしのできごとをきざんだ記念碑なども、歴史を調べる手がかりになります。
  - (2) わたしたちの身のまわりには、[ ] を伝えるものがたくさんあります。
  - (3) むかしの人びとのたえまない努力の上に、わたしたちの住む今の [ ] があり、わたしたちの暮らしがあります。
  - (4) 今の世の中を見つめ、これからよりよい [ ] を築いていくために、わたしたちは、歴史を学ぶのです。

歴史 本 世の中 日本 やじり

2 下の図は、歴史を伝えるものです。名まえをI群から選び、どんなものかあてはまる文の記号をII群から選んで〔 〕に書き入れましょう。



I群 〔① 〕 〔② 〕 〔③ 〕  
 II群 〔① 〕 〔② 〕 〔③ 〕

I群【 やじり 城 土器 】

II群【 ア・大名が自分の治める土地を守るためにつくったもの  
 イ・大むかしの人びとがかりをするときに使ったもの  
 ウ・大むかしの人びとが食べものをにたりするのに使ったもの 】

3 〔 〕にあてはまることばを、下から選んで書き入れなさい。

- (1) 大むかしの人びとが、かりをするときに矢の先につけて使ったものが〔① 〕です。ねん土を焼いてつくられた〔② 〕は、食べものをにたり、水を入れたりするのに使われました。
- (2) わたしたちの身のまわりにある、むかしの人びとがつくった道具や建物、書き残した〔① 〕や手紙、むかしのできごとをきざんだ〔② 〕、語り伝えられてきた話などから、むかしの人びとの〔③ 〕や願いを調べることができます。
- (3) むかしの人びとは、その時代において、より幸せなくらしをするために、いろいろな〔① 〕やくふうをしてきました。この人びとのはたらきの上に、今の〔② 〕があり、わたしたちのくらしがあります。
- (4) わたしたちは、今の人びとのくらしを正しく知り、だれもが〔① 〕なくらしができる世の中を、これから築いていくために〔② 〕を学習します。

やじり くらし 歴史 土器 記念碑 幸せ 大名  
 本 努力 日本

- 4 [ ] にあてはまることばを、下から選んで書き入れなさい。
- (1) 大むかしの人びとがかりをするとき、矢の先につけたものを [ ]  
とといいます。
  - (2) 大名は、自分の治める土地を守るために [ ] をつくりました。
  - (3) 道具や建物、本や手紙、記念碑など、わたしたちの身のまわりには、 [ ]  
を伝えるものがたくさんあります。
  - (4) みんなのたえまない [ ] の上に、今の日本があり、わたしたちのくらし  
があります。
  - (5) 今の世の中を見つめ、これからよりよい [ ] を築いていくために、  
わたしたちは、歴史を学ぶのです。

努力 城 世の中 やじり 歴史

🍎 ごくろうさま。頭をやすめて、ものしりコーナーを読みましょう！



### 歴史を伝える、たこあげ

きみは、たこあげをしたことがありますか。このたこあげ、日本にいつごろからあったのでしょうか。たいそう古く、今から1200年ぐらいむかしからあったようです。

そのころのたこあげは、一種の芸であって、だれにでも楽しめるものではありませんでした。今のよう、子どもたちが遊びとして、たこあげをするようになったのは、300年ぐらいむかしになってからでした。

このように、遊びや行事のなかにも、長い歴史を伝えるものがあるのですね。



やっこだこ

#### ミニ・トレーニングの答え

- 1 (1)やじり (2)土器 (3)城 (4)本 (5)歴史



## 歴史を学ぶ前に

## 年表と歴史





🍎 こんにちは。第1日めは、歴史を伝えるものを見つけて、そこからなぜ歴史を学習するのか考えてみたね。第2日めは、歴史を学習するときに必要な、年表についてだよ。

歴史を学習するときは、いつ、どのようなできごとが起こったかを知ることがたいせつだね。また、あるできごとのあとに、どんなできごとが起きているかという、できごとの移り変わりをすることもたいせつなことなんだよ。そんなとき、年表を利用すると便利なんだね。

では、年表の見方<sup>みかた</sup>や作り方について、学習をはじめよう。

ぼくが生まれてから、  
今までの年表をつくって  
みたんだ。



時代	平成												
年	〇才	一才	二才	三才	四才	五才	六才	七才	八才	九才	十才	十一才	
できごと	ぼくが生まれた 		妹が生まれた	はしかにかかった	ようち園に入った 		小学校に入学した 				ひっこしをした 		小学六年生になった

ぼくのできごと

●きょうのテーマ●

年表を使おう、年表をつくってみよう。



## 学習しよう！

## 年表の見方

**年表とは** 年表とは、ものごとの起こった年月順に、表にまとめたものをいいます。年表を見れば、いつごろ、どのようなできごとが起きたかが、ひとめでわかります。また、そのできごとの前後の関係や、歴史の移り変わりを知るのに便利です。

### 西暦と世紀

下の年表を見てみましょう。

世紀	紀元前	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
時代	日本のあけぼの			古墳時代			飛鳥時代	奈良時代	平安時代			鎌倉時代		
年代		100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000	1100	1200	
できごと					古墳がさかんにつくられる			奈良に都がおかれる	京都に都がおかれる	祇園祭りが始まる				鎌倉に幕府が開かれる

歴史年表

年表には、「世紀」、「時代」、「年代」などのことばが書かれていますね。

時代とは、歴史の流れのなかで、特ちょうのある期間ごとに区切ったものです。そして、政治の中心の場所や、元号などの名がつけられています。

年代は、ある年をもとにして、何年たったかをあらわすもので、ふつうは西暦を使います。西暦というのは、キリストが生まれたと考えられる年をもとにして、数える年のことです。キリストが生まれたと考えられる年を、最初の年と決めたので、これを西暦紀元元年（1年）といいます。紀元元年より前は、紀元前といいます。

世紀は、西暦紀元元年から、100年ごとを区切りとした数え方のことです。たとえば、21世紀というのは、2001年から2100年までをさします。

### チェック 等尺度年表

この歴史年表は、年月の長さを同じわりあいにしたもので、等尺度年表といえます。奈良時代は短く、平安時代は長かった、というようなことがすぐわかるので、便利です。

### チェック 時代

奈良時代とか鎌倉時代というのは、政治の中心があった場所からつけられた名まえです。明治時代とか、大正時代というのは、元号からつけられた名まえです。

また、いくつかの時代をまとめて、貴族の世の中、武士の世の中というように、世の中の特ちょうによって大きく区切ってよぶこともあります。

### チェック 元号

現在では、元号は日本独特の年代のあらわし方です。くわしくは、ミニ事典を読みましょう。

🍎 ここまでの学習をミニ・トレーニングでまとめておこう。答えは、きょうの学習の最後のページにあるよ。

 ミニ・トレーニング 

- 1 [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。
- (1) ものごとの起こった年月順に、表にまとめたものを [ ] といいます。
  - (2) 歴史の流れのなかで、特ちょうのある期間ごとに区切ったものを [ ] といいます。
  - (3) キリストが生まれたと考えられる年をもとにして数える年代を [ ] といいます。
  - (4) キリストが生まれたと考えられる年を、西暦 [ ] (1年) といいます。
  - (5) 西暦紀元元年から100年ごとを区切りとした数え方を [ ] といいます。

🍎 次に、年表のつくり方を考えてみよう。



考えてみよう!

年表づくり

年表をつくる

年表をつくるときは、まず何についての年表なのかわかるように、題をつけましょう。下の年表では、「古墳時代から飛鳥時代の歴史」というのが題にあたります。

それから、世紀、時代、年代、おもなできごとなどのらんが必要です。

年代のらんは、ふつう西暦を使うので、年代のかわりに「西暦」と書いてもかまいません。

おもなできごとには、見やすくわかりやすいように、できごとを短い文にまとめて記入します。

世紀	時代	年代	おもなできごと
4	古墳時代		・古墳がさかんにつくられる ・大和朝廷が国の統一を進める
			・仏教が伝来する
5	飛鳥時代	593	・聖徳太子が摂政となる
		603	・冠位十二階を定める
6	飛鳥時代	604	・十七条の憲法を定める
		607	・遣隋使を送る ・法隆寺を建てる

古墳時代から飛鳥時代の歴史

🔍 チェック 年表の種類

年表には、年月の長さを同じわりあいにした等尺度年表のほか、たて書きのたて年表、よこ書きのよこ年表、絵の入った絵年表などがあります。

何の年表をつくるかによって、年表をくふうしてみるとおもしろいですね。

🔍 ことば 西暦

西洋(ヨーロッパのこと)の暦という意味です。

ほりきってね。



🍎 はい、これで年表のできあがりだね。ここで、ちょっとひとやすみして、ミニ事典を読んでみよう。それから、トレーニングだよ!



\*\*\*\*\*



## 元号

元号は年号ともいい、もともとは中国で使われていた年のよびかたです。中国のえいきょうを受けたアジアの各国で使われていました。しかし現在は、日本でだけ使われています。日本で最初の元号は、西暦645年につけられた「大化」です。また、もっとも年数の長い元号は、「昭和」です。日本では、元号は天皇がかわったときのほか、良いことが起こったり、世の中がみだれたときなどにかえられました。天皇一代のあいだに何度もかえられたことがあります。明治以後は、天皇がかわるごとにかえられるだけです。1989年には、昭和から現在の「平成」にかえられています。

\*\*\*\*\*



答えは 1 ページ

1 [ ] にあてはまることばを書きなさい。

- (1) ものごとの起こった年月順に、表にまとめたものを [ ] といいます。
- (2) 歴史の流れのなかで、特ちょうある期間ごとに区切ったものを [ ] といいます。
- (3) キリストが生まれたと考えられる年をもとにして数える年代を [ ] といいます。
- (4) キリストが生まれたと考えられる年を、西暦 [ ] といいます。
- (5) 西暦紀元元年から100年ごとを区切りとした数え方を [ ] といいます。

2 右の図は、歴史年表の一部です。これを見ながら問いに答えましょう。

- (1) 何世紀から何世紀の年表ですか。  
[ ]
- (2) 何時代から何時代の年表ですか。  
[ ]
- (3) 聖徳太子が摂政になった年は、何年ですか。  
[ ]
- (4) 607年には、どんなできごとがありましたか。  
[ ]  
[ ]

世紀	時代	年代	おもなできごと
4	古墳時代		古墳がさかんにつくられる
			大和朝廷が国の統一を進める
5	時代		仏教が伝来する
6	飛鳥時代	593	聖徳太子が摂政となる
		603	冠位十二階を定める
7	飛鳥時代	604	十七條の憲法を定める
		607	遣隋使を送る 法隆寺を建てる

古墳時代から飛鳥時代の歴史

**3** 次の問いに答えなさい。

- (1) 歴史の流れの中で、特ちょうのある期間ごとに区切ったものを何といいますか。  
〔 〕
- (2) キリストが生まれたと考えられる年をもとにして数える年のあらし方を何と  
いいますか。〔 〕
- (3) 西暦紀元元年せいれき きげんがねんから100年ごとを区切りとした数え方を何といいますか。  
〔 〕
- (4) 20世紀の最初の年と最後の年を書きなさい。  
最初の年……西暦〔① 〕年  
最後の年……西暦〔② 〕年
- (5) 607年は、何世紀ですか。〔 〕

**4** 次の文の〔 〕にあてはまることばを、下から選んで書き入れなさい。

- (1) ふつう、年表では年代をあらわすのに〔 〕を用います。
- (2) 西暦紀元元年せいれき きげんがねんより前を〔 〕とといいます。
- (3) 西暦せいれきのほかに、日本独特どくとくのよび名を使って年代をあらわします。これを〔①  
〕とといいます。現在の元号げんごうは、〔② 〕です。

西暦 元号 紀元後 紀元前 平成 年代

**5** 年表について、次の問いに答えましょう。

- (1) 「時代」について、【 〃 】のことばを用いて説明しなさい。  
【 歴史の流れ 特ちょうのある期間 〃 】  
〔 〃 〕
- (2) 「世紀」というのは、年数のどのような数え方ですか。【 〃 】のことばを用いて  
説明しなさい。 【 西暦紀元元年 100年ごと 〃 】  
〔 〃 〕
- (3) 201年から300年までは、何世紀ですか。〔 〃 〕

☆ うまくまとめられないときは、学習しよう📖を読み返してみよう。

**6** 次の事からにあてはまることばを〔 〕に書きなさい。

- (1) 年数をあらわすのに、キリストが生まれたと考えられる年をもとにするやり方  
〔 〕
- (2) 歴史の流れのなかで、特ちょうのある期間ごとに区切ったもの  
〔 〕
- (3) <sup>せいれき きげんがねん</sup>西暦紀元元年から、100年ごとを区切りとした数え方  
〔 〕
- (4) 5世紀とは、西暦何年から何年までをいいますか。  
〔 〕

**7** 次の事からを年表に書き入れましょう。

- (1) <sup>せいし</sup>世紀 (1世紀から13世紀まで) (2) <sup>かまくら</sup>時代 (日本のあけぼのから鎌倉時代まで)
- (3) 年代 (100年ごとに1200年まで目もりに数字を書き入れる)
- (4) 下のできごとを、( ) 内の年代と合う〔 〕を書く

- 【 <sup>こかん</sup>古墳がさかんにつくられる (400年ごろ)  
京都に都がおかれる (794年)      鎌倉に<sup>ばくふ</sup>幕府が開かれる (1192年) 】

世紀	紀元前																	
時代	/																	
年代																		
できごと						( )												

歴史年表

🍎 年表はうまくつくれたかな？ 答え合わせがすんだらきょうの学習は終わりだよ。

## 🍎ミニ・トレーニングの答え

- ① (1)年表 (2)時代 (3)西暦 (4)紀元元年 (5)世紀

# たいむ★とんねる

いよいよ、歴史の学習のはじまりだよ。

まず、トレペのお友だちを紹介しよう。つとむくんとあや子さんです。この2人といっしょに、きみもたいむ★とんねるしていこうね。



弥生時代の服そう

今月は、日本列島が形づくられたころから、日本が国としてまとまったころまでを学習するよ。

さあ、用意はいいかな？ じゃ、日本の歴史のなかへ入っていきましょう。

		日本国のなりたち					
時代	縄文時代	弥生時代			古墳時代		
年代	今から1万年前	元年	100	200	300	400	500
世紀	紀元前	1	2	3	4	5	6

今月学習する時代



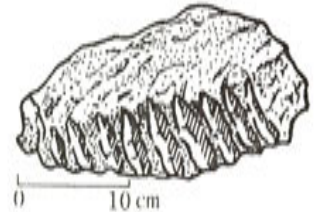
## 日本の国のなりたち

# のじりこ かせき 野尻湖の化石と日本列島の形成

● 今から、40年以上前、<sup>ながの</sup>長野県野尻湖のほりにある旅館の主人が、湖の岸で、さしわたし20センチメートルくらいの化石を見つけたよ。

大学の先生に調べてもらうと、なんとこの化石は、今から3万年以上もむかしのナウマン象のおく歯だったんだよ。

いったい、そのころの日本は、どんなようすだったんだろう。どんな生きものがいたのかな。人間はいたんだろうか。ちょっと想像してみよう！



ナウマン象のおく歯の化石

### ● きょうのテーマ ●

野尻湖の化石から、どんなことがわかるだろうか。



## 学習しよう！

## のじりこじん 野尻湖人と日本列島の形成

**なその野尻湖人** <sup>のじりこ</sup>野尻湖は、冬の間、湖の水を発電に使うので、水がへって底があらわれます。ナウマン象の<sup>かせき</sup>化石が見つかったから、春になると野尻湖では、何回も<sup>はっ</sup>発掘が行われてきました。そして、今から3万年以上もむかしのナウマン象やおおつのじかの<sup>ほね</sup>骨の化石がたくさん見つかりました。

### 📍チェック <sup>のじりこ</sup>野尻湖



### 📖ことば <sup>かせき</sup>化石

むかし地球上で生きていた動物や植物が、土の中にくずもれて、石のようにかたくなって残ったものをいいます。



ナウマン象



おおつのじか

また、石や骨をするとくどとがらせてつくった道具も見つ

かりました。道具が見つかったことから、どんなことがわかるのでしょうか。

考えられることは、3万年以上もむかし、野尻湖のふきんに、ナウマン象やおおつのだかのかりをしてくらしていた人間がいたということです。道具は、動物をたおしたり、木や肉を切ったりするときに使ったと思われます。この人間を野尻湖人<sup>のじりこじん</sup>とよびますが、残念ながら野尻湖人の骨は、まだ見つかっていないのです。

**日本列島ができる** ナウマン象は、もともとインドにすむ象のなかまだとされてきました。そのナウマン象が日本にいたということは、日本列島がアジア大陸と陸つづきであったと考えられます。インドから中国をへて、日本にわたってきたのでしょう。

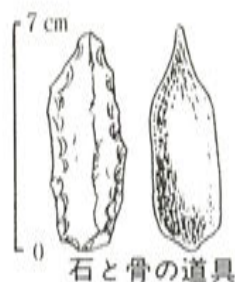
そして、ナウマン象を追って、人間も大陸からわたってきたと考えられています。

その後、アジア大陸と切りはなされ、日本は海にかこまれた島国となりました。現在のような日本列島ができたのは、今からおよそ1万年前のことです。



アジア大陸と地つづきになっていたころの日本列島

### チェック 石や骨でつくった道具

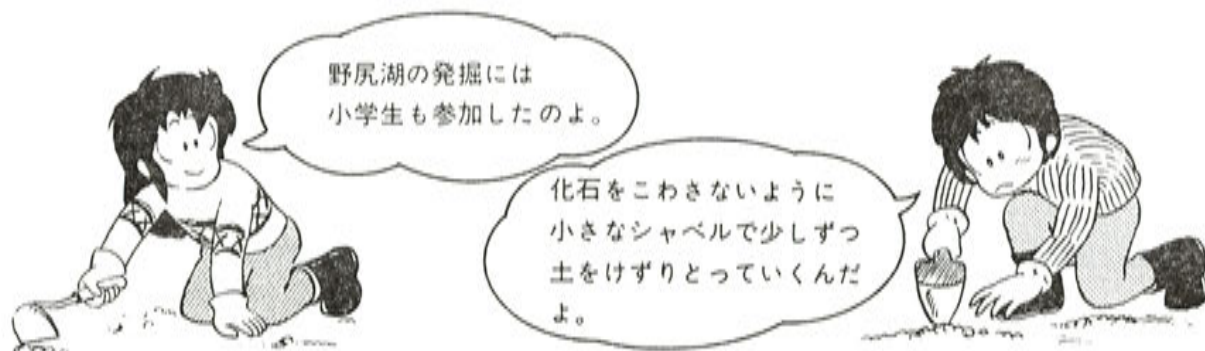


石と骨の道具

左は石でつくった道具、右は骨でつくった道具です。大きさは、6～7センチメートルぐらいですね。

### チェック 日本が島国になったわけ

今から3万年以上もむかしは、氷河期<sup>ひょうがき</sup>といわれ、地球の広い地域が氷でおおわれていました。ところが、2万年前あたりから、気候<sup>あたたか</sup>が暖かくなって、氷がとけたのです。とけた氷は、海へ流れこみ、みるみる海面を上げていきました。いっぽう、陸地は長い間に動いて、しずんでいきました。こうして日本はアジア大陸と切りはなされたのです。



- 🍎 野尻湖で見つかった化石から、日本がアジア大陸と陸つづきだったことや、日本人の祖先がどこからきたかなどがわかったんだね。さあ、トレーニングだよ。



答えは 1 ページ

**1** 次のことばを漢字で書きましょう。

- (1) かせき [            ]      (2) のじりこじん [                            ]

**2** [    ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 野尻湖から3万年以上もむかしの [                                            ] やおおつのじかの化石が見つかりました。
- (2) 石や骨でつくった道具は、 [            ] をしてくらしていた人間がいたことをしめしています。
- (3) 3万年以上もむかし、日本は [                                            ] と陸つづきでした。
- (4) 現在のような日本列島は、今からおよそ [                                            ] 前にできました。

**3** 野尻湖で見つかったものについて、次の問いに答えなさい。

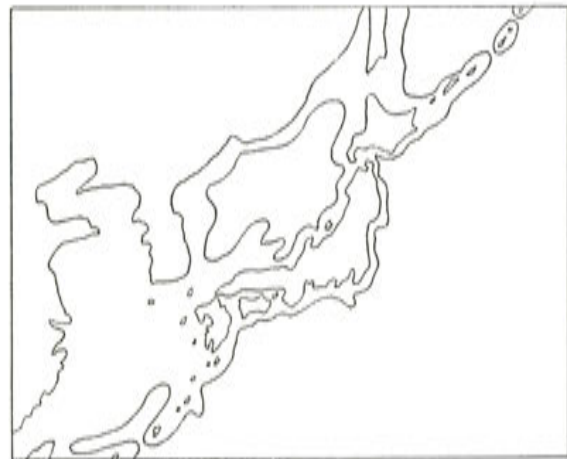
- (1) 最初に見つかった化石は、何のおく歯でしたか。 [                                            ]
- (2) 発掘では、どんな動物の化石が見つかりましたか。2つあげなさい。  
[                                            ] [                                            ]
- (3) 今から、どのくらいむかしの動物の化石が見つかりましたか。  
[                                            ]
- (4) 化石のほかに見つかった道具は、どんなものでできていましたか。2つ書きなさい。  
[            ] [            ]
- (5) ここでくらしていた人間を何とよびますか。 [                                            ]
- (6) ここでくらしていた人間は、どんなことをしてくらしていましたか。  
[                                            ]
- (7) 3万年以上もむかし、日本列島とアジア大陸はどんな状態でしたか。  
[                                            ]
- (8) 化石の動物や人間は、どこからわたってきたと考えられますか。  
[                                            ]

4 [ ] にあてはまることばを書き入れましょう。

- (1) 今から40年以上前、長野県野尻湖の岸で〔①〕のおく歯の化石が見つかりました。その後の発掘で、おおつのじかの骨、石や骨の〔②〕などが見つかりました。
- (2) これらの動物の化石は、約〔①〕万年以上前のものです。そのころには人間も住んでいて、象やしかの〔②〕などをしてくらしていました。
- (3) 日本列島には、当時、陸つづきだった〔①〕から動物がわたってきて、それを追って〔②〕もわたってきたと思われます。
- (4) 当時、野尻湖ふきんにくらしていた人間を〔〕といい、石や骨をするどくどがらせた道具を使ってかりをしていました。しかし、まだ、その人骨は見つかっていません。

5 右の図に作業をして、問いに答えなさい。

- (1) 現在の陸地を赤でぬりなさい。
- (2) 約3万年前のころの陸地で、現在は海のところは青でぬりなさい。
- (3) 野尻湖の位置に●印を記入しなさい。
- (4) ナウマン象やおおつのじかがわたってきた方向に→を記入しなさい。
- (5) アジア大陸と日本列島が陸つづきであったことは、どうしてわかりましたか。



- [ ]
- (6) 当時、野尻湖人がかりなどをしてくらしていたことはどうしてわかりましたか。
- [ ]

🍎 答え合わせをして、まちがったところを確かめておこう。それにしても、野尻湖人の骨がはやく見つかるといいのにね。もし、きみが発掘したら大発見になるよ。では、まどめのトレーニングにすすもう。





## まどめのトレーニング

答えは 2 ページ

☆ まず、きょうのポイントを確かめよう。

6 [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 野尻湖から [ ] 年以上もむかしのナウマン象やおおつのじかの化石が見つかりました。
- (2) 石や骨でつくった [ ] は、かりをしてくらしていた人間がいたことをしめしています。
- (3) 3 万年以上もむかし、日本はアジア大陸と [ ] でした。
- (4) 現在のような [ ] は、今からおよそ 1 万年前にできました。

7 次の問いに答えなさい。

- (1) 3 万年以上もむかしに、野尻湖ふきんで活動していた動物を 2 つ答えなさい。  
[ ] [ ]
- (2) 当時、野尻湖人がくらしていたと考えられるこんきょとなった発掘品は何ですか。  
[ ]
- (3) 動物や人間は、どこからわたってきましたか。 [ ]
- (4) どうしてわたれたのですか。  
[ ]

☆ きょうの学習の総まとめだよ。

8 [ ] にあてはまることばや数字を書き入れなさい。

野尻湖の発掘品 → 〔①〕・おおつのじかの骨の化石

〔②〕や骨でつくった道具



(わかったこと) 今から〔③〕万年以上もむかしのものだった  
アジア大陸から陸づたいに動物や人間がわたってきた  
野尻湖人は、〔④〕をしてくらしていた

日本列島の形成 → 今からおよそ〔⑤〕万年前である

🍎 3万年以上もむかしから、日本には人間が住んでいたんだね。このことを証明する発見を、もうひとつ、ものしりコーナーで紹介しよう。



## いわじゆくい せき 岩宿遺跡の発見

1946年（昭和21）10月のある日のことです。群馬県桐生市に住む相沢忠洋さんは、自転車でなっとうなどを売り歩いていた。ちょうど岩宿のがけ道を通りかかったときです。切り通しの赤土のなかから、何かがキラッと光っているのに気づきました。何だろう？ と思い、さっそくそのあたりをさがすと、石でつくった道具（石器）のかけらが見つかったのです。

それまで、石器は、赤土の上に積もっている黒土のなかからだけ出ると信じられていました。相沢さんは、赤土のなかにあるはずがない石器を見つけたのです。その後、1949年には、大がかりな発掘調査が行われ、岩宿の赤土のなかから、石やりの形をした石器を、はじめて完全な形で掘り出すことができました。

この発見によって、今から1万年よりもっとむかしから、日本には人間が住んでいたことが、はっきりわかりました。富士山などの火山活動によって赤土の層ができたのは、数万年前のことですから、岩宿遺跡の発見は、そのころすでに石器を使ってくらしていた人間がいたということ、教えてくれるわけです。相沢さんは、少年のころから、古い時代のことに興味をもち、一人で勉強していたので、何だろうと疑問をもち、大発見することができたのですね。

岩宿では、人間の骨は見つかりませんでした。その後、人間がいたことを証明するかのように、この時代の人骨の一部が、愛知県の牛川や静岡県の三ヶ日などで発見されました。これらが、これまでのところわかっている、日本最初の人類です。



本日、これまで！

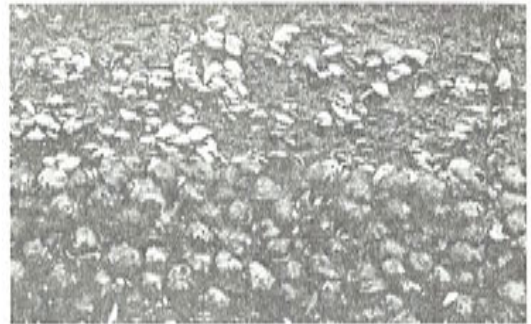




## 日本の国のなりたち

### りょう かりや漁のくらし

第3日の学習で、今から1万年くらい前に日本列島ができたことを知ったね。そのころには、ナウマン象やおおつのじかは、すがたを消していたんだ。大むかしの人びどのくらしは、どうかわっていったのだろう。



貝塚かいづかってということばを、きいたことがあるかい？ 大むかしの人びどのごみすて場で、ここを調べると、大むかしの人びどのくらしについて、いろいろなことがわかるんだ。とくに、1961年(昭和36)、福井県ふくいで発見された鳥浜貝塚とりはまかいづかからは、大むかしのものがたくさん見つかって、「タイムカプセル」といわれているんだよ。

きょうは、貝塚から、大むかしの人びどのくらしを調べていこう。

### ●きょうのテーマ●

貝塚を調べると、どんなことがわかるだろうか。

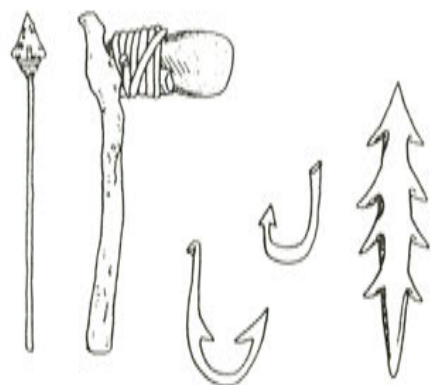
## 学習しよう！

### 貝塚調べ 貝塚とは、

大むかしの人びどが食べた貝のからやごみなどをすてたところです。

貝塚からは、貝がらのほかに、魚や鳥や動物の骨、木の実やたねなどが出てきます。人間の骨が出てくることもあります。

また、石器、土器などの道具も出てきます。石器は、石



やじりとおの  
(石器)

つりばりともり  
(動物の骨や角)

### 貝塚から出てくるもの

#### ことば 貝塚

「塚」の字には、もり土という意味があります。貝塚とは、貝などがもり土のようにかたまっているところといえるでしょう。

#### ことば 器

訓読みすると「うつわ」で、いれものの意味ですが、しくみがかんたんな道具をさすときにも使います。

をくだいてつくった道具で、やじりやおのなどがあります。土器は、ねん土を焼いてつくった道具で、いれものに使いました。このほか、動物の骨や角でつくった、もりやつりばりなどの道具もあります。さらに、植物のせんいであんだなわ、あみ、布、木をけずってつくった丸木舟、弓、うつわなどが出てくることもあります。

福井県三方町の鳥浜貝塚からは、今から5500年くらい前のものが、たくさん出てきました。これによって、大むかしの人びどのくらしのようすを知ることができます。



まず、ここまでの学習をトレーニングしておこう。

## トレーニング

答えは 2 ページ

1 [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 大むかしの人びどが食べた貝のからやごみをすてたところを [ ] といいます。
- (2) 石をくだいてつくったやじりやおのなどの道具を [ ] といいます。
- (3) ねん土を焼いてつくった道具を [ ] といいます。
- (4) 福井県三方町の [ ] 貝塚からは、今からおよそ5500年前の人びどのくらしがわかるものが、たくさん出てきました。

2 次の問いに答えましょう。

- (1) 大むかしの人びどが食べた貝のからやごみをすてたところを何といいますか。 [ ]
- (2) 石をくだいてつくった道具をまとめて何といいますか。 [ ]
- (3) ねん土を焼いてつくった道具を何といいますか。 [ ]

3 次の文の [ ] にあてはまることばを、あとから選んで書き入れなさい。

- (1) 貝塚からは、貝がらのほかに、魚や鳥や動物の [ ]、木の実やたねなどが出てきます。人間の骨が出てくることもあります。
- (2) 貝塚からは、 [ ] をけずってつくった舟、弓、うつわなども出てきます。

(3) 福井県三方町にある〔 〕からは、今から5500年くらい前の人びどのくらしのようすを知ることができます。

石器 骨 鳥浜貝塚 木 野尻湖

貝塚調べから、大むかしの人びどが、どんなくらしをしていたのか、想像できるかな。さて、次の学習にすすもう。



## 学習しよう！

### 大むかしの食べ物

大むかしの人びどが、どんなものを食べていたかがわかりました。

およそ、右の表のよ  
うなものを食べていま  
した。鳥浜では、かり  
のえものでは、いのし  
し、しかが多かったよ  
うです。植物では、ど  
んぐり、くり、くるみ  
などの木の實をたくさ  
ん食べていました。

大むかしの人びどは、  
おもに、山や野に出て  
かりをしたり、海や川  
へ行って漁つりをしたりして、食べ物を手にいれていました。  
また、森では木の實を集めて食べていました。

かりや漁つりをするのは危険きげんも多かったので、大ぜいの人た  
ちが力を合わせてやりました。とったえものは、みんなで  
平等に分け合っていました。

また、同じ場所に長く住んでいて、食べ物が少なくなると、  
食べ物の多いところをさがし、住まいを移すこともあり  
ました。

鳥浜貝塚とりはまかいづかなどを調べて、大むか

食べていたもの

植物	どんぐり・くり・どち・ くるみ・山菜・しそ・うり・ 野いちご・もも・かき
鳥	かも・がん・きじ・ たか・からす
動物	しか・いのしし・くま・ おおかみ・うさぎ・きつね・ たぬき・かもしか
魚	まぐろ・ぶり・たい・ かつお・かれい・ほら・ いか・えび・うなぎ
貝	あさり・はまぐり・あわび・ かき・しじみ

## 貝塚からわかること

### チェック 鳥浜とりはまの人びどの食べ物

鳥浜貝塚から見つかった  
食べ物のかすのうち、貝が  
ら、全体のおよそ70パー  
セントをしめていました。  
しかし、貝は、食べられな  
い貝がらの部分は残るが、  
食べられる部分が少ないの  
で、実際の割合は、食べ物  
全体の13パーセントくら  
いだったということです。

また、鳥浜では、およそ  
5000年前には、野菜やまめ  
をつくる、かんたんな農業  
もはじまっていた。しか  
し、食べ物全体にしめる  
割合は、わずかでした。

わたしたちが食べている  
ものと同じものが多いわ。



- 🍎 日本列島ができた1万年ぐらい前から、このようなくらしが始まったんだよ。それでは、トレーニングしよう。学習しよう📖を読みながらでもかまわないよ。



答えは 2 ページ

**4** [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 大むかしの人びとは、おもに、かりや [ ] をして、食べ物を手にいれていました。
- (2) 大むかしの人びとは、森では、どんぐり、くり、くるみなどの [ ] を集めて食べていました。
- (3) かりや漁<sup>りょう</sup>は、みんなで力を合わせて行い、とったえものは [ ] に分け合いました。

**5** 次の文の [ ] にあてはまることばを、下から選んで書き入れなさい。

- (1) 大むかしの人びとは、おもに、〔① 〕や野に出てかりをしたり、海や川へ行って〔② 〕をしたりして、食べ物を手にいれていました。
- (2) 大むかしの人びとは、森では [ ] を集めて食べていました。
- (3) 大ぜいの人たちが力を合わせて、 [ ] や漁<sup>りょう</sup>を行いました。
- (4) とったえものは、みんなで [ ] に分け合いました。
- (5) 食べ物が少なくなると、食べ物をさがして [ ] を移すこともあり  
ました。

かり 山 土器 住まい 貝塚 漁 平等 木の实

**6** 次の問いにかんたんに答えましょう。

- (1) 大むかしの人びとは、食べ物を手にいれるために、おもにどんなことをしていましたか。  
[ ]
- (2) かりや漁<sup>りょう</sup>は危険<sup>きけん</sup>が多かったので、人びとはどうしましたか。  
[ ]
- (3) とったえものは、どうしていましたか。  
[ ]

🍎 きょうは、学習しよう🍎が2つあったね。2つまとめて、トレーニングしよう。

## まどめのトレーニング

答えは 2 ページ

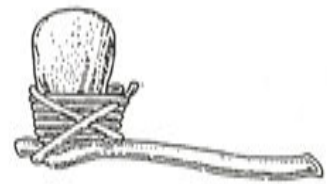
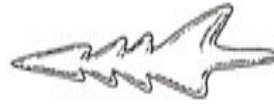
7 [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 大むかしの人びとが食べた貝のからやごみをすてたところを [ ] といいます。
- (2) 石をくだいてつくったやじりやおのなどの道具を [ ] といいます。
- (3) ねん土を焼いてつくった道具を [ ] といいます。
- (4) 今から5500年くらい前の人びとのくらしがわかる貝塚は、[ ] の<sup>み</sup>三方町にある<sup>かな</sup>鳥浜<sup>とりはま</sup>貝塚です。
- (5) 大むかしの人びとは、おもに、かりや [ ] をして、食べ物を手にいれていました。
- (6) 大むかしの人びとは、森では [ ] を集めて食べていました。
- (7) かりや漁は、みんなで力を合わせて行い、とったえものは [ ] に分け合いました。
- (8) 大むかしの人びとは、食べ物の多いところをさがして、[ ] を移すこともありました。

8 次の問いに答えなさい。

- (1) 貝塚とは、どんなところをいいますか。  
[ ]
- (2) 福井県三方町で、1961年に見つかった貝塚を、何といいますか。  
[ ]
- (3) 大むかしの人たちは、おもにどんなことをして食べ物を手にいれていましたか。  
[ ]
- (4) 森では、どのような食べ物を集めていましたか。 [ ]
- (5) 危険が多かったかりや漁は、どのようにして行っていましたか。  
[ ]
- (6) 住まいを移すことがあったのは、どんなときですか。かんたんに書きなさい。  
[ ]

9 大むかしの人が使っていた道具の名まえを、下から選んで書き入れなさい。



(1) [                      ] (2) [                      ] (3) [                      ] (4) [                      ]

おの もり つりばり やじり

10 次の文の〔 〕にあてはまることばを書き入れなさい。

大むかしの人びとが残した〔①                      〕を調べると、食べていたものや使っていた〔②                      〕が出てきます。大むかしの人びとは、みんなで力を合わせて、〔③                      〕や魚いしのくらしをしていました。

🍎 大むかしの人びとは、自然のめぐみにたよるくらしだったんだね。ひもじい思いをしたこともあったろうね。答え合わせをしたら、コラムを読んでみよう。



### おもしろいづか 大森貝塚の発見

1877年（明治10）、東京大学で動物学を教えていたアメリカ人のエドワード・モースは、横浜から東京の新橋へ向かう汽車の窓から、貝がらがたくさんたまっているところを見つけ、あとから調べに出かけました。場所は、東京の大森のおおもりあたりでした。調べた結果、これらの大量の貝がらは、大むかしの人びとがすてたものであることがわかりました。こうして、アメリカ人によって、日本で最初に貝塚が発見されたのです。

この大森貝塚の発見がきっかけとなって、日本の各地で貝塚が発掘はっくつされるようになり、現在では日本全国で約1000か所あまりも見つかっています。そのうちのおよそ40パーセントが東京湾の沿岸えんがんに集まっており、なかでも千葉市の加曾利貝塚かそりかいづかは、きほどの大きいことで知られています。





## 日本の国のなりたち

### じょうもんど き 縄文土器の時代

🍎 第4日の学習をおぼえているかな。

大むかしの人びとは、おもに、かりと  
りょう  
魚で食べ物を手にいれていたね。とこ  
ろで、どんな住まいでくらしていたの  
だろう。

また、<sup>かいづか</sup>貝塚からは、<sup>せっき</sup>石器や<sup>どき</sup>土器が出  
てきたね。どんな色や形をした土器で、  
どんなことに使ったのかな。

きょうは、大むかしの人びとの住ま  
いと土器について学習していこう。



大むかしの人びとの暮らし（想像図）

#### ●きょうのテーマ●

大むかしの人びとの住まいと土器は、どんなようすだっただろうか。



### 学習しよう！

### たてあな住居と縄文土器

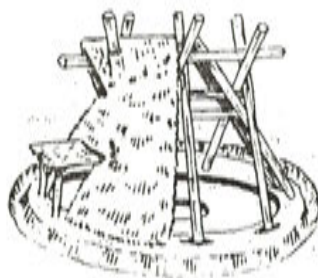
#### 住まいの発見

<sup>とりはまかいづか</sup>鳥浜貝塚の近くからは、さしわたし

3メートル前後の四角や円のたいらなあなが見つかりました。調べてみると、これは大むかしの人びとの住まいのあとでした。

人びとは、地面を50センチメートルぐらい掘って、ゆかをつくり、何本もの柱を立てて、木のえだや草をかぶせて住んでいました。このような住まいを、たてあな住居といいます。

たてあな住居は、貝塚の近くに



たてあな住居

#### 🗨️ことば たてあな住居

地面に、柱を立てるための深い穴が、たてにあいていたために、たてあな住居といえます。

内部には、火をたいて料理するための炉が掘られ、屋根に近いところには、けむり出しの窓まどがありました。

数戸から数十戸あって、家族ごとに住んでいたようです。そして、みんなで力を合わせて、かりや漁<sup>りょう</sup>を行い、えものを平等に分け合っけくらしていました。

**縄目もようの土器** たてあな住居のなかでは、火をたいて魚や肉を焼いたり、貝や木の實をにて食べたようです。食べ物をにたり、水などを入れたりするのに土器が使われました。

ねん土を焼いてつくった土器は、赤黒い色をしていて、あつみがあります。表面になわをおしつけたようなもようがついているので、**縄文土器**とよばれています。縄文土器は、日本の各地で見つかっています。

かりや漁<sup>りょう</sup>を行い、たてあな住居に住み、縄文土器を使っていた時代を、**縄文時代**といいます。

縄文時代は、いつごろから始まり、どれくらい続いたのでしょうか。これは、日本列島ができた、今からおよそ1万年前に始まり、約8000年も続いたと考えられています。



縄文土器

よくよもう!



**ことば** 縄文土器

「縄」はなわと訓読みします。表面に縄目の文様(もよう)のある土器といういい方を短くしたことばなのですね。

🍎 野尻湖の発掘から、3万年以上もむかしから人間がいたことがわかったね。けれど、人間が土器を使うようになったのは、今からおよそ1万年前からなんだね。



つとむくん、縄文時代の特色はなあに？

かりと漁のくらし、たてあな住居、そしてきわめつけが縄文土器さ。



① [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 大むかしの人びとは、地面を掘ってつくった [ ] に住んでいました。
- (2) 表面になわをおしつけたようなもようのある土器を [ ] といいます。
- (3) 縄文土器が使われていた時代を [ ] といいます。
- (4) 縄文時代は、今からおよそ [ ] 前から、約8000年も続きました。

② 問いに答えましょう。

- (1) 地面を掘って、柱を立て、木のえだや草をかぶせた住まいを何といいますか。  
[ ]
- (2) 赤黒い色をして、あつみがあり、なわをおしつけたようなもようがついている土器を何といいますか。  
[ ]
- (3) かりや漁を行い、たてあな住居に住み、縄文土器を使っていた時代を何といいますか。  
[ ]
- (4) 縄文土器が使われていた時代は、今からおよそ何年前に始まり、約何年間続きましたか。  
[ ]

③ 次の文の [ ] にあてはまることばを、下から選んで書き入れましょう。

- (1) 大むかしの人びとは、〔①〕を掘ってゆかをつくり、何本もの柱を立てて、木のえだや〔②〕をかぶせて住んでいました。

人びとは、このようなたてあな住居に住み、みんなで力を合わせて、〔③〕や漁を行い、えものを〔④〕に分け合っけてらしていました。

草    ほらあな    農業    かり    平等    地面    縄文土器

- (2) 土器は、〔①〕を焼いてつくった道具で、食べ物をにたり、水を入れたりするのに使いました。
- 縄文土器は、表面に〔②〕をおしつけたようなもようがあることから

名まえがつけられました。

かりや漁を行い、〔③〕に住み、縄文土器を使っていた時代を〔④〕とといいます。この時代は、今からおよそ1万年前に始まり、約〔⑤〕も続きました。

たてあな住居 草 8000年 なわ 縄文時代 ねん土

**4** 右の絵と写真を見て、問いに答えなさい。

(1) ①と②は、何とよばれていますか。名まえを書きなさい。  
①〔 〕

②〔 〕

(2) ①の住まいは、どのようにつくられていましたか。かんたんにまとめてなさい。

〔 〕

(3) ②の土器は、どんな特色がありましたか。

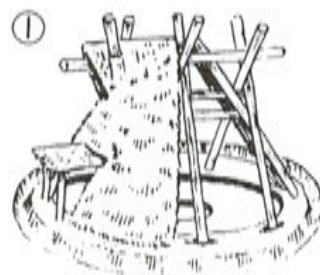
〔 〕

(4) この時代の人びとは、おもに、何をして食べ物をえていましたか。〔 〕

(5) この時代を何といいますか。〔 〕

(6) 日本列島が現在のような形になったころ、この時代が始まりました。今からおよそ何年前のことですか。〔 〕

(7) この時代は、どれくらい続きましたか。〔 〕



🍎 ここで、答え合わせをしよう。まちがえたところは、学習しよう📖を読みなおしておこうね。



つぎはまどめのトレーニングだよ!



## まどめのトレーニング

答えは 2 ページ

5 [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 大むかしの人びとは、地面を掘ってつくった [ ] に住んでいました。
- (2) 表面に [ ] をおしつけたようなもようのある土器を縄文土器といいます。
- (3) 縄文土器が使われていた時代を [ ] といいます。
- (4) 縄文時代は、今からおよそ1万年前から、約 [ ] も続きました。

6 次の問いに答えなさい。

- (1) 大むかしの人びとは、おもに、どんなことをして食べ物を手にしていましたか。 [ ]
- (2) このころの人びどが使っていた土器を何といいますか。 [ ]
- (3) このころの人びどの住まいを何といいますか。 [ ]
- (4) このようなくらしをしていた時代を何といいますか。 [ ]

☆ 最後に縄文時代の特色をまとめておこう。

7 表の [ ] にあてはまることばを下から選んで書き入れなさい。

### 縄文時代のまとめ

- 期 間 →今からおよそ [①] 前から約8000年間
- ・くらし ……かりや魚のくらし  
えものを [②] に分け合う
- ・道 具 …… [③], 土器, 動物の骨・角や木の道具
- ・土 器 ……なわをおしつけたようなもようのある縄文土器
- ・住まい …… [④]

石器    2万年    ほらあな    たてあな住居    1万年    平等

🍎 大むかしの人びどのくらしが、だいぶはっきりわかってきたね。

ところで、縄文土器は、どのようにつくられたのかな。答え合わせがすんだら、ものしりコーナーを読んでみよう。



## じょうもんどき 縄文土器をつくってみよう！

縄文土器は、次のようにしてつくられました。 ①

①まず、平らな台の上でねん土をよくこねます。



②土器の底の部分をつくったら、細長くのばしたねん土のひもを、輪のようにしてぐるぐると、上へまきあげます。まきおわったら、形を整えて、表面のつき目を手でつぶして平らにします。



③これからデザインですよ。ねん土のやわらかいうちに、よりひもを表面におしつけ、ころがしてなわ目のもようをつけます。



次に日かげで乾燥させます。水分が十分にじょう発するまで2週間ほどかかります。

④かれ木をくんだたき火の中で、土器を4時間ぐらい焼きます。このとき、土器全体に熱が回るようにするのがこつです。最後に、土砂をかぶせ、残り火の中に一晚おきます。これで、縄文土器の完成です。



高さ30センチメートルの土器で、完成までに15日以上もかかります。

きみも、土器づくりに挑戦してみませんか。むかしの人の気持ちになれるかもしれませんよ。



## 第3日から第5日

# 復習をしよう！

- 🍓 ここでひと息ついて、日本列島ができたころから、縄文時代じょうもんじだいまでの復習をしておこう。およそ3万年間の歴史の問題を、きみは何分で仕上げてしまえるかな？  
全部終わったら、答え合わせをして得点とくてんを出してみようね。

答えは3ページ

**問 1** 次の文の〔 〕にあてはまることばを書き入れなさい。

- 現在のような日本列島は、今からおよそ〔 〕ほど前にできました。
- 大むかしの人びとが食べた貝のからやごみをすてたところを〔 〕といいます。
- 大むかしの人びとは、石器せつき、動物の骨・角ほねや木の道具を使って、〔 〕や漁のくらしをしていました。
- 表面になわをおしつけたようなもようのある土器どきを〔 〕といいます。
- 縄文時代じょうもんは、今からおよそ1万年前から約〔 〕も続きました。

**問 2** 右の図を見て、問いに答えなさい。

- ㊦の湖からは、3万年以上前の動物の化石が見つかりました。この動物の名まえを2つ書きなさい。

〔 〕  
〔 〕

- (1)のころ、㊦の湖のあたりに人間がいたことは、どうしてわかりましたか。

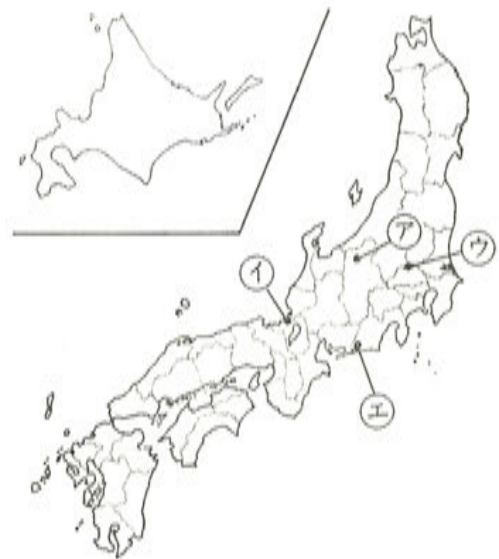
〔 〕

- 福井県で発見された、今からおよそ5500年前の人びとのくらしがわかる貝塚かいづかの名まえを書きなさい。

〔 〕

- (3)の貝塚の位置を、①～㊦から選び、記号で答えなさい。

〔 〕



**問 3** 右の絵と写真を見て、問いに答えなさい。

(1) ①の住まいを何といいますか。

[ ]

(2) ②の土器どきを何といいますか。

[ ]

(3) ①、②を利用していた時代を何といいますか。

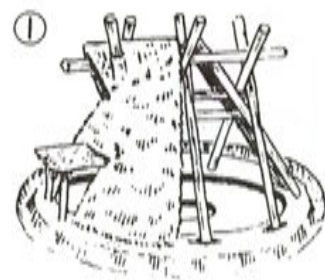
[ ]

(4) このころの人びとは、①の住まいを移すことがありました。それは、おもに、どんなことをして食べ物を手にいれていたからですか。

[ ]

(5) このころの人びとは、食べ物をどのように分け合っていましたか。

[ ]



**問 4** 年表を見ながら、問いに答えなさい。

(1) 現在のような日本列島ができたのは、いつですか。

[ ]

(2) ㉠にあてはまる時代は、何ですか。

[ ]

(3) ㉠の時代は、どのくらい続きましたか。

[ ]

(4) ㉠の時代の人びとのくらしは、何を調べるとわかりますか。

[ ]

世紀	時代	年代	おもなできごと
紀元前		3万年以上前	・野尻湖人が活動する のじりこいじん
		1万年前	・日本列島ができる ・かりや漁 <small>かりいし</small> のくらし ・貝塚 <small>かいづか</small> が多くできる ・縄文土器 <small>じょうもんどき</small> ・たてあな住居
		㉠	

大むかしの年表

🍎 まちがえた問題は、すぐに復習して、今ここでおぼえちゃおう！

〔配点〕 問1・各5点    問2・(1)各5点(2)10点  
          (3)(4)各5点    問3・各5点  
          問4・各5点

100点





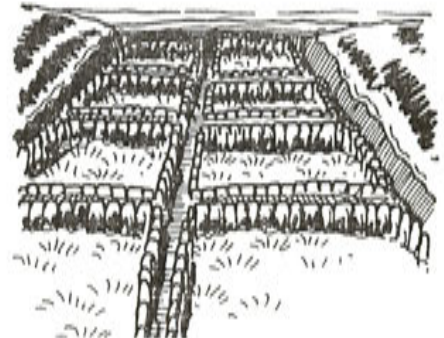
## 日本の国のなりたち

### とろ 登呂の水田あと

🍎 野尻湖からナウマン象の化石が発見された数年前、静岡市（静岡県）の登呂から、むかしの水田のあとが見つかったよ。

大むかしの人びとは、おもに、かりや漁によって食べ物を手にいれていたね。いったい、いつから水田をつくって、米をつくるようになったんだろう……。

きょうは、このなぞをとくために、登呂遺跡の探検に出発しよう。



長方形にしきられた水田あと

#### ●きょうのテーマ●

登呂の水田のあとから、どんなことがわかるだろうか。



### 学習しよう！

### 登呂の水田あと

**水田あとの発見** 静岡市の登呂遺跡から、長方形の水田のあとが40あまり見つかりました。水田のしきりには、およそ2万もの木の板やくいが使われていました。

登呂の人びとは、どのようにして水田をつくったのでしょうか。登呂の近くには、安倍川が流れ、どろ深いしっ地が広がっていました。

人びとは、このしっ地に、板やくいを2列に打ちこみ、その間に土をうめこんであぜ道をつくり、水田を長方形にしきっていったのです。

おそらく、森から木を切り出してきては、何万とい



水田をつくる登呂の人びと

### 👉チェック 登呂遺跡



### 👉ことば 遺跡

むかしの人びとのくらしや、その土地のようすがわかるものが見つかったところを、遺跡といいます。

う板やくいをつくり、1つずつ打ちこんでいったのでしょ  
う。たいへんな努力でしたね。

**米をつくる** 登呂遺跡からは、米づくりに使った木  
製のくわやすき、田げたなども見つかりました。

木でつくったくわやすき  
は軽いので、どろ深い水田  
での農作業には、とても便  
利だったのでしょ。田げ  
たは、どろに足をとられな  
いようにはいたものです。



登呂のむらの春

春になると、たねもみを  
じかに田にまく、たねまき  
をしました。ほかの地域で  
は、なえを育てて植える、  
田植えをしていたとみられ  
る遺跡も見つかっています。



登呂のむらの秋

また、石でつくった石ぼうちょうという道具も見つかり  
ました。秋になると、穂づみといって、実った稲の穂をこ  
の石ぼうちょうを使ってつみとりました。

**チェック** 木製の農具



くわ



田げた

**チェック** 石ぼうちょう



2つの穴をあけてひもを  
つけ、それに手を通してに  
ぎって使いました。

**チェック** 穂づみ

稲を根元からかる稲かり  
とはちがい、稲の穂先だけ  
をつみとる方法です。

🍎 じゃ、ここまでの学習をミニ・トレーニングしておこう。

**ミニ・トレーニング**

答えはきょうの最後のページ

① 漢字で書きなさい。

- (1) しずおかし [ ] (2) どろいせき [ ]

② [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 静岡市の登呂遺跡から、長方形の [ ] が見つかりました。  
(2) 人びとは、板やくいをうちこんで安倍川ぞいの [ ] を水田にしきっていきました。  
(3) 登呂遺跡からは、 [ ] でつくったくわやすき、田げたなども見つかりました。  
(4) 実った稲の穂は、 [ ] を使ってつみとりました。

🍎 日本人とお米のごはんは、切っても切れない縁だ  
よね。次は、米づくりが、いつごろ、どのようにし  
て伝わったのか考えてみることにしよう。

よ〜くかんがえてね!





## 考えてみよう！

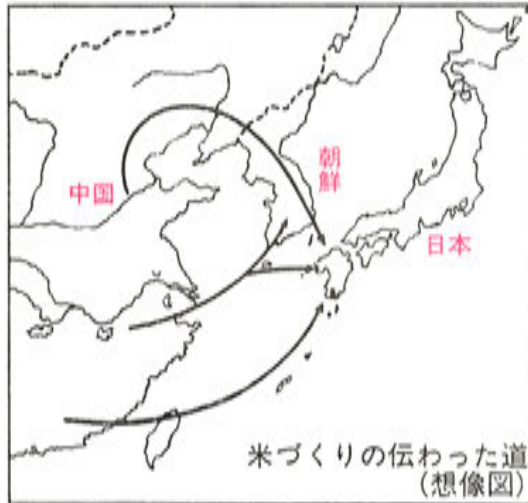
## 米づくりの伝来

**米づくりが伝わる** 米づくりの技術は、今からおよそ2300年前に、中国や朝鮮（アジア大陸）から九州北部に伝えられたと考えられています。

おそらく、中国や朝鮮から、米づくりの技術をもった人びとが、海をわたって日本にやってきましたのでしょ。う。

こうして伝えられた米づくりは、西日本から東日本へと広がり、東北地方にまで広がっていきました。

登呂遺跡の水田は、今からおよそ1800年前につくられたものです。



「米づくり」も一つのすぐれた文化です。このようにすぐれた文化がアジア大陸から日本へと伝わってきました。

米づくりの技術が伝わって、食べ物で自分たちでつくることが知ったんだね。



米づくりの伝わった道は、頭に入ったかな。トレーニングで確かめてみよう。

## トレーニング

答えは 3 ページ

❶ [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 静岡市の登呂遺跡から、長方形の [ ] が見つかりました。
- (2) 人びとは、板やくいをうちこんで安倍川ぞいの [ ] を水田にしきっていきました。
- (3) 登呂遺跡からは、 [ ] でつくったくわやすき、田げたなども見つかりました。
- (4) 実った稲の穂は、 [ ] を使ってつみとりました。
- (5) 米づくりの技術は、今からおよそ2300年前に、 [ ] や朝鮮から九州北部

に伝えられたと考えられています。

(6) 米づくりは、西日本から東日本へと広がり、〔 〕地方にまで広がっていききました。

(7) 登呂遺跡の水田は、今からおよそ〔 〕前につくられました。

**2** 問いに答えましょう。

(1) 水田のあとが見つかった、静岡市にある遺跡を何といいますか。

〔 〕

(2) 登呂遺跡からは、40あまりの何が見つかりましたか。

〔 〕

(3) どろに足をとられないように、水田ではいた道具を何といいますか。

〔 〕

(4) 米づくりの技術は、いつごろ日本に伝わりましたか。

〔 〕

(5) どこから米づくりの技術は伝えられたと考えられていますか。

〔 〕

(6) はじめて米づくりの技術が伝わったのは、日本のどこですか。

〔 〕

(7) 登呂遺跡の水田あとは、いつごろのものですか。

〔 〕

**3** 右の地図を見ながら、問いに答えなさい。

(1) 地図中の㉓は、何という国ですか。

〔 〕

(2) 地図中の㉔は、何という半島ですか。

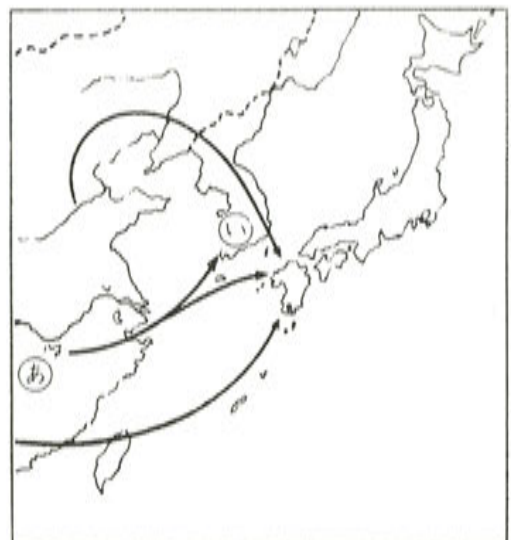
〔 〕半島

(3) 地図中の矢じるしは、ある技術が日本に伝わったと思われる道すじを示しています。何の技術ですか。

〔 〕

(4) 登呂遺跡の位置に●印を記入しなさい。

(5) 登呂遺跡は、何市にありますか。



[ ]

4 米づくりの道具について、問いに答えましょう。

(1) ①と②は、何といいますか。

① [ ]

② [ ]



(2) ①は、水田で何のために使いましたか。

[ ]

(3) ②は、秋に何のために使いましたか。

[ ]

(4) 米づくりの技術は、いつごろ日本に伝わりましたか。

[ ]

(5) ①や②の道具が発見された静岡市の遺跡を何といいますか。

[ ]

5 次の文の [ ] にあてはまることばを、下から選んで書き入れなさい。

(1) 登呂の人びとは、安倍川ぞいのしっ地に、板や〔① 〕を2列に打ちこみ、その間に土をうめこんで〔② 〕をつくり、水田をしきっていきました。

(2) 木でつくった〔 〕やすきは、軽いので、どろ深い水田での農作業には、とても便利でした。

(3) 米づくりの技術は、中国や〔① 〕からやってきた人びとによって伝えられたのでしょう。米づくりは、まず九州北部に伝わり、〔② 〕から東日本へと広がり、東北地方にまで広がっていきました。

(4) 静岡市の〔① 〕にある水田あとは、米づくりが伝わってから400～500年あとのもので、今からおよそ〔② 〕前につくられました。

西日本 1800年 くい 登呂遺跡 朝鮮 あぜ道 くわ

🍎 答え合わせのあとは、まとめのトレーニングだよ。



## まどめのトレーニング

答えは 3 ページ

6 [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 長方形の水田のあとが見つかったのは、[ ] にある登呂遺跡<sup>とろいせき</sup>です。
- (2) 登呂遺跡からは、木でつくった道具や実った稲の穂<sup>ほ</sup>をつみとる [ ] など見つかりました。
- (3) 米づくりの技術は、今からおよそ2300年前に、中国や朝鮮<sup>ちようせん</sup>から [ ] 地方北部に伝えられたと考えられています。
- (4) 安倍川<sup>あべ</sup>ぞいのしっ地で、今からおよそ1800年前につくられた水田のあとが見つかった遺跡は、[ ] です。

7 次の問いに答えなさい。

- (1) 登呂遺跡<sup>とろいせき</sup>から見つかった、長方形にしきられたものは何ですか。  
[ ]
- (2) 米づくりの技術は、いつごろ、どこから日本に伝わったと考えられていますか。  
[ ]
- (3) 米づくりの技術は、日本のどこに伝わり、どこまで広がっていきましたか。  
[ ]
- (4) 米づくりに使われた道具を2つあげなさい。  
[ ] [ ]
- (5) 米づくりの技術が伝わる前は、人びとは、おもにどんなことをして食べ物を手にしていましたか。  
[ ]

8 (1)～(3)の時代にあてはまることばを下から選び [ ] に書き入れなさい。

- (1) 今からおよそ1万年前 [ ]
- (2) 今からおよそ2300年前 [ ]
- (3) 今からおよそ1800年前 [ ]

米づくりの技術が伝わる      登呂に水田ができる      縄文時代が始まる

🍎 かりや漁のくらしをしていた日本に、米づくりが伝わったんだね。ちょっとものしりコーナーで、紙テープを使った作業をしてみよう。



## ゆるやかな変化

縄文時代から、米づくりが伝わり、現在にいたるまでの歴史を、紙のテープであらわしてみます。

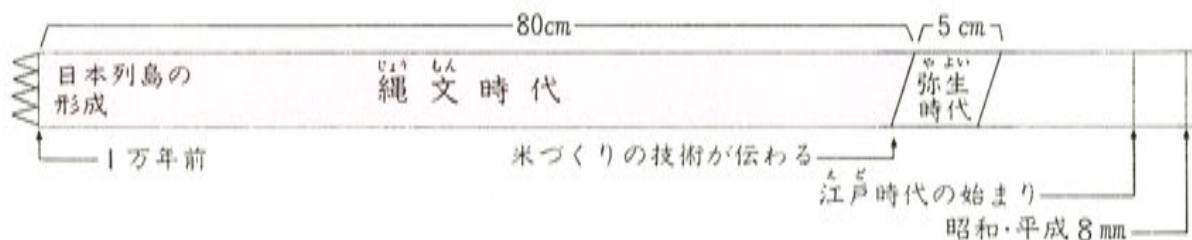
100年間（1世紀）を1センチメートルとしてみてみましょう。そうすると、きみが生まれてからの12年間はわずか0.12センチ、昭和と平成の時代（約80年間）でさえも0.8センチしかありませんね。

しかし、かりや漁をしてくらしした縄文時代（8000年以上）は、なんと80センチにもなるのですよ。日本列島が形成されたのが、今からおよそ1万年前ですから、そのあとの歴史の80パーセント以上が縄文時代だったといえますね。

長い縄文時代の間にも、かりのしかたや道具のつくり方など、人びどのくらしは進歩していきました。しかし、それは、とてもゆるやかな進歩でした。

かりや漁にささえられた縄文時代の人びどのくらしを大きくかえたのは、米づくりです。今からおよそ2300年前、九州北部に伝わった米づくりの技術は、200～300年間のうちに、東北地方までも広がっていきました。

米づくりが伝わり、時代は、長い長い縄文時代から弥生時代へとかわっていったのです。



### ミニ・トレーニングの答え

- ① (1)静岡市 (2)登呂遺跡  
 ② (1)水田のあと (2)しっ地 (3)木 (4)石ぼうちょう



## 日本の国のなりたち

### やよいどき 弥生土器の時代

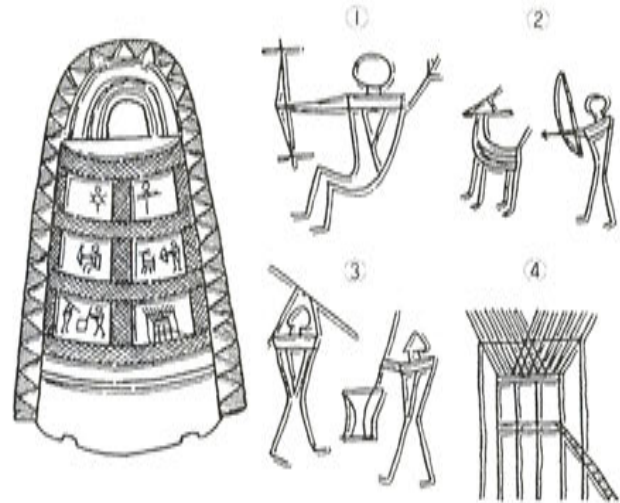
● 右の絵は、米づくりとともに大陸から伝わってきた、銅たくという道具だよ。博物館などで、見たことはないかな。どんなことに使われたんだろう？

表面にえがかれた絵を見てみよう。

①は、つむいだ系をまきとっている人、  
②は、弓矢でしかをねらっている人、  
③は、うすの中の米をきねでついて、脱こしている人のようすだね。④は、建物のようだね。たてあな住居とは、つくりがちがうようだけど、どんなことに使われたのだから。

じゅうもん  
縄文時代の人びとのくらしは、覚えているよね。たてあな住居に住み、おもにかりや漁で食べ物を手にいれ、縄文土器を使ってにたきをしていたね。

米づくりが伝わって、人びとのくらしは、どうかわっていったんだろう。銅たくや、銅たくにえがかれた絵を手がかりにして、調べていこう。



銅たくと表面にえがかれた絵



### ●きょうのテーマ●

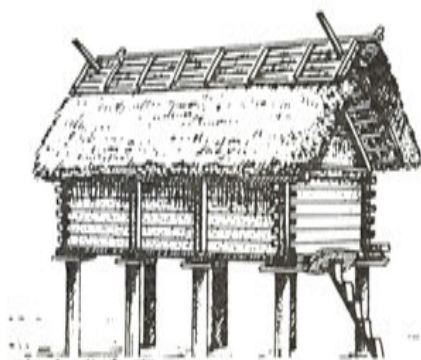
米づくりが伝わって、人びとのくらしはどのようにかわったのだろうか。

● まず、銅たくにえがかれた建物から調べていこう。この建物のあとは、とろいせき登呂遺跡からも見つかっているよ。



**米をたくわえる倉庫** 登呂遺跡からは、人びとが住んでいた12戸のたてあな住居のあとが見つかりました。また、たてあな住居より小さな建物のあとが2つ見つかりました。

この2つの建物は、米をたくわえておく倉庫だと考えられています。地面からのしっ気で米がくさらないように床が高くなっているため、高床式倉庫とよばれています。柱には板をはめこんで、ねずみが登ってくるのを防ぐ、ねずみがえしというくふうもされています。



高床式倉庫

倉庫は住居にかこまれたむらの中央に建てられていました。

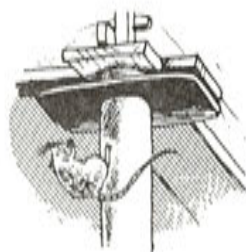
倉庫は2つしかないため、収穫された米は、登呂に住む人びと全体のものとして、たくわえられていたのでしょう。

**むらができる** 米づくりが始まると、人びとはかりや漁のくらしのように、えものを求めて住まいを移さなくてよくなりました。米を倉庫にたくわえておいて、必要なときに出して食べることができるようになったからです。人びとは台地の上から、水田のつくりやすい低地へ住みつくようになりました。

さらに、米づくりは、水田をつくったり、たねまきや収穫をしたり、大ぜいの人びとの協力が必要です。こうして、米づくりが始まると、人びとは低地に、大ぜいでいっしょに住みつくようになり、登呂のような「むら」が各地にできました。

**チェック** たてあな住居 縄文時代の人びとも、たてあな住居に住んでいましたね。縄文時代のものと、弥生時代のたてあな住居は、広さや屋根の形などが多少ちがいましたが、目だった変化はありませんでした。ただ、弥生時代のものの方が、がんじょうにつくられていましたよ。

**チェック** ねずみがえし 倉庫のなかにねずみが入れないように、板がはめてありました。



**ことば** むら

このころの「むら」は、小さな集落（家の集まり）をさしています。現在のよな政治のしくみやまとまりをもった村とはちがいます。そこで、漢字を使わずに、とくに「むら」とひらがなで書くのです。

● 米づくりが始まって、むらが各地にできたんだね。でも、かりや漁もひきつづき行われていたんだよ。

① [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 登呂とろの人びとは、[ ] という建物に住んでいました。
- (2) 収穫しゅうかくした米をたくわえておく [ ] という建物のあとが見  
つかりました。
- (3) 米づくりが始まると、人びとは、台地から水田のつくりやすい [ ] へ  
住みつくようになりました。
- (4) 米づくりが始まると、大ぜいの人びとがいっしょに住みつくようになり、[ ]  
] が各地にできました。

② 登呂遺跡とろいせきから見つかった建物のあとについて、問いに答えましょう。

- (1) 人びとは、どんな住まいに住んでいましたか。 [ ]
- (2) 収穫しゅうかくした米をたくわえておく建物を何といいますか。  
[ ]
- (3) 登呂のように、人びとがいっしょに住みついていたところは、何とよばれます  
か。 [ ]

③ 次の文の [ ] にあてはまることばを、下から選んで書き入れなさい。

- (1) 高床式倉庫たかゆかしきそうこは、地面からのしっけ気で〔① 〕がくさらないくふうや、〔② 〕  
] が登ってこられないくふうがしてあります。
- (2) 米を倉庫にたくわえておいて、必要などきに出して食べることができるように  
なったので、人びとは [ ] を移さなくてよくなりました。
- (3) 米づくりが始まって、人びとは〔① 〕の上から、水田のつくりやすい  
低地へ、大ぜいでいっしょに住みつくようになりました。こうして〔② 〕  
] が各地にできました。

米    登呂    台地    むら    魚    ねずみ    住まい    倉庫

🍎 答え合わせをしよう。

建物について調べたあとは、このころ使われていた道具について調べていこう。



## 学習しよう！

## 金属器と弥生土器

### 鉄や青銅が伝わる

米づくりの技術とともに、およそ2200～2300年前、中国や朝鮮から、金属でできた新しい道具が伝わりました。鉄器と青銅器といいます。

登呂遺跡からは、米づくりに使われた木製の道具が見つかりましたね。木製の道具には、鉄のおのやナイフのような道具でけずったあとがついていました。このように、鉄器は、農具をつくるのに使われました。青銅器は、祭りの道具やかざりものとして使われていました。

鉄器も青銅器もたいへん貴重なものだったので、宝物のようにあつかわれていたようです。人びとは、ふだんのくらしでは、石器や土器、動物の骨・角や木でできた道具を使っていました。

### 進んだ土器づくり

新しい土器のつくり方も、中国や朝鮮から伝わりました。

この土器は、赤みがかった色で、形やもようもすっきりしていて、しかも、うす手のわりにかたくてじょうぶでした。縄文土器は、赤黒い色をしていて、あつみがあり、なわをおしつけたようなもようがついていましたね。縄文土器にくらべて、つくり方がずっと進歩しました。

新しい土器は、最初に発見された弥生町（現在の東京都文京区弥生）の名をとって、弥生土器とよばれています。そして、米づくりが行われ、弥生土器が使われていた時代を弥生時代といいます。弥生時代は、米づくりの技術や新しい道具が伝わった今からおおよそ2200～2300年前から、3世紀ごろまで続きました。



弥生土器

### ことば 鉄器と青銅器

鉄器は、文字どおり鉄でつくった道具のことです。

青銅器は、銅とすずの合金でつくった道具です。さびによって、緑がかった青色をしています。

### チェック 青銅器

下の絵は、青銅器の一種で、銅たくとよばれている道具です。祭りのときに、神へそなえたと考えられています。



銅たく

### チェック 弥生土器

中国や朝鮮から伝わった技術によって、縄文土器より高い温度で、土器を焼けるようになりました。そのため、土がよくしまり、こわれやすかった縄文土器より、うす手のわりにかたくてじょうぶな土器がつけられるようになりました。



つぎはトレーニング！

🍎 米づくりの広がりとともに、人びどのくらしは大きく進歩したんだね。

## トレーニング

答えは 4 ページ

4 漢字で書きましょう。

- (1) てつき〔            〕      (2) せいどうき〔            〕  
(3) やよいどき〔            〕

5 〔    〕にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 米づくりの技術とともに、中国や朝鮮から〔            〕や青銅器が伝わりました。  
(2) 木製の農具をつくるのに〔            〕が使われました。  
(3) 祭りの道具やかざりものとして〔            〕が使われました。  
(4) 形のどとのった、うすくてかたい土器を〔            〕といいます。  
(5) 弥生土器が使われていた時代を〔            〕といいます。  
(6) 弥生時代は、およそ2200～2300年前から〔            〕ごろまで続きました。

6 問いに答えましょう。

- (1) 鉄器や青銅器は、どこから伝えられましたか。〔            〕  
(2) 米づくりが行われていたころ使われていた土器を何といいますか。  
〔            〕

7 次の文の〔    〕にあてはまることばを、下から選んで書き入れなさい。

- (1) 鉄器は、〔①            〕をつくるのに使われました。青銅器は、〔②            〕の道具やかざりものとして使われました。  
(2) うすくてかたい〔①            〕は、あつくてなわをおしつけたよ  
うなもようのある〔②            〕より、つくり方が進歩しました。  
(3) 縄文時代より進んだ文化をもつこの時代を〔            〕といいます。

弥生時代    縄文土器    青銅器    農具    弥生土器    祭り

8 [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 米をたくわえておく [ ] のあとが見つかりました。
- (2) 米づくりが始まると、大ぜいの人びとがいっしょに住みつくようになり、[ ] が各地にできました。
- (3) 米づくりの技術とともに、中国や朝鮮から [ ] や青銅器が伝わりました。
- (4) 形のととのった、うすくてかたい土器を [ ] といいます。
- (5) 弥生土器が使われていた時代を [ ] といいます。

9 次の問いに答えなさい。

- (1) 右の建物を何といいますか。

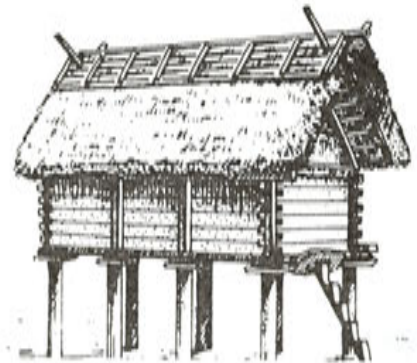
[ ]

- (2) この建物にたくわえられたものは何ですか。

[ ]

- (3) この建物の床が高くなっているのは何のためですか。

[ ]



- (4) 米づくりが始まると、人びとはどんな場所に住むようになりましたか。また、それは何のためですか。

[ ]

- (5) 米をたくわえておくようになると、人びとのくらしはどう変わりましたか。次のことばを使ってまどめなさい。

【 住みつく      むら    】

[ ]

- (6) 米づくりの技術とともに、鉄器や青銅器などの新しい道具が伝わったのは、いつごろですか。 [ ]

10 次の問いに答えなさい。

(1) 右の土器を何といいますか。

[ ]

(2) この土器は、どんな特色がありましたか。

[ ]

(3) この土器のつくり方は、どこから伝えられましたか。

[ ]

(4) この土器が使われていた時代を何といいますか。また、その時代はいつごろからいつごろまで続きましたか。

時代 [① ]

およそ [② ] 年前から [③ ] 世紀ごろまで

(5) この土器のつくり方のほか、新しい道具も伝えられました。2つ答えなさい。

[ ] と [ ]



☆ 第6日と7日をあわせて、弥生時代のまとめをしておこう。

11 表の [ ] にあてはまることばを下から選んで書き入れなさい。

弥生時代のまとめ

○期 間 → およそ2200～2300年前から3世紀ごろまで

・くらし ……およそ2300年前、[① ] が始まる

低地に住みつき [② ] が各地にできる

・道 具 ……石器、土器、動物の骨・角や木の道具

米づくりに使われた [③ ] の農具

鉄器や [④ ] が伝わる

・土 器 ……形のどとのった、うすくてかたい弥生土器

・建 物 ……住まいは [⑤ ]

米をたくわえておく高床式倉庫

木製 縄文土器 米づくり むら たてあな住居 青銅器

- ごくろうさま。よくがんばったね。答え合わせをしておこう。  
きょうのものしりコーナーは、登呂の人びとのくらしをくわしくみていくよ。



## とろ 登呂のくらしと食べ物

登呂のむらには、何人ぐらいの人びとがくらししていたと思いますか。見つかった、たてあな住居の数が12戸ですから、1戸に5～6人が住んでいたとして、およそ60～70人ぐらいだと計算されています。それでは、これだけの人数がくらししていけるほど米がとれたのでしょうか。

登呂の水田のあとは、広さが約7万平方メートルありました。これは、東京ドームを約1.4倍した面積と同じくらいです。現在のように、農業の技術が発達していたわけではありませんから、おそらくむらの人びとが十分食べていけるほど米はとれなかったと考えられています。

米は、もみのまま倉庫にしまい、必要な分だけとり出してきては、食べていたようです。もみは、うすに入れ、むかい合った2人がかわるがわるきねについて、もみがらをとりのぞきました。うすときねは、木製で、これは女性たちの仕事でした。そして、かめのような土器のなかで、その米をにて食べました。



もみをとる人びと

しかし、このころの人びとは、米だけを食べていたのではありません。縄文時代ほどかりや漁にたよってはいませんでしたが、弥生時代の人びとも、かりや漁を行っていました。肉や魚や貝は、重要な栄養分だったので、おかずとして食べていたのですね。ですから、米づくりが始まったからといって、かりや漁をまったくしなかったわけではないのです。



にたき用の土器

高さは10～25センチぐらいでした。

米づくりが始まると、米が主食になり、肉や魚がおかずとなって、今のわたしたちの食事のものができたのですね。



## 日本の国のなりたち

### むらからくにへ

● トレペのはじめにある「歴史の舞台」の、「吉野ヶ里遺跡の大発見！」はもう読んだかな？

右の絵は、今から2000年近く前の吉野ヶ里（現在の佐賀県）のようすだよ。

まわりにほりを掘り、さくをめぐらし、背の高い物見やぐらを設けて、まるで、とりでのようだね。どうして、こんなに守りを固めていたんだろう？

米づくりが始まって、各地にむらができるようになったことは、第7日に学習したね。

きょうは、各地にできたむらや、人びとのくらしがどうかわっていったのかを、学習していこう。



2000年近く前の吉野ヶ里のようす（想像図）

#### ●きょうのテーマ●

むらは、どのようにしてくにへとまとまっていったのだろうか。



#### 学習しよう！

##### かしら<sup>しやげん</sup>が出現する

米づくりが広がると、各地に登るようなむらが増えてきました。米はたくわえておくことができるので、人びとのくらしは豊かになりました。

すると、しだいにむらのなかで、米のたくわえの多い人と少ない人が出てきました。また、よい水田をもって、多くの収穫<sup>しゅうかく</sup>をあげる人とそうでない人が出てきました。こうして、むらの人びとの間に、貧富<sup>ひんふ</sup>の差（富んだ人と貧しい人との差）がうまれてきたのです。

大きなむらがくにになる

かりや漁の時代には、えものを平等にわけあっていたのにね。





いっぽう、大ぜいの人が米づくりを行い、水田をつくったり、たねまきや収穫をしたりするには、仕事をさしずする人が必要です。むらには、人びとのかしらとなる身分の高い人もあらわれるようになりました。むらのかしらは、<sup>ほうさく</sup>豊作をいのる祭りの<sup>しどうしゃ</sup>指導者でもありました。

こうして、弥生時代になると、人びとの間に貧富と身分の差が出てきました。

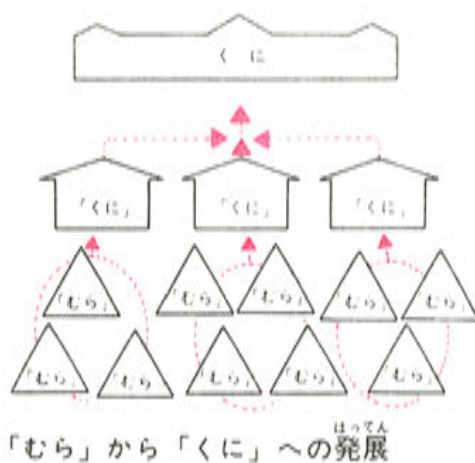
**くにができてきた** 各地にできたむらとむらの間にも、力の差ができてきました。また、土地や用水をめぐる争いもおこるようになりました。富んだ力の強いむらのかしらは、戦いをしかけて、貧しく弱いむらをしたがえていきました。



首のない人の骨  
<sup>よしのがりいせき</sup>吉野ヶ里遺跡からは、戦死したと考えられる、首のない人骨や、やじりがささったままの人骨が見つかりました。

こうして、大きなむらができ、やがては広い<sup>ちいさ</sup>地域を治めるようになり、小さなくにがうまれてきました。佐賀県の<sup>よしのがりいせき</sup>吉野ヶ里遺跡は、こうした大きなむら、あるいは小さなくにのあとだと、考えられています。

むらやくにどうしの戦いに敗れて、ほりよになった人びとは、どれいにされたようです。くにのかしらは、大きな力をもち、<sup>ごうぞく</sup>豪族とよばれるようになりました。



こうして、人びとの間に貧富と身分の差が、いっそう広まりました。

**チェック 祭り**

米づくりのよしあしは、気候によって左右されます。そこで、むらの人びとは、太陽や水や風などに神がやどっていると信じ、あがめていました。

春は豊作を願い、秋には<sup>いかに</sup>収穫を感謝するために、銅たくをかざり、ごちそうをつくって祭りを行いました。

**チェック <sup>よしのがりいせき</sup>吉野ヶ里遺跡**



吉野ヶ里遺跡については、トレベのはじめにある「歴史の舞台」を読みましょう。

**ことば くにと国**

「くに」とは、小さなむらが集まって、大きなまとまりとなったものをいいます。しかし、弥生時代の日本は、まだ1つの国としてまとまりをもっていません。そこで、このころの「くに」を、まとまりをもった国とは区別して、ひらがなで書くのです。

**1** [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 米のたくわえができるようになると、むらのなかに [ ] と身分の差がうまれてきました。
- (2) 米づくりの仕事のさしずや、祭りを行う [ ] があらわれました。
- (3) 力の強い [ ] のかしらは、弱いむらをしたがえて大きなむらをつくりました。
- (4) 大きなむらは、広い地域を治め、小さな [ ] がうまれてきました。
- (5) 佐賀県の [ ] 遺跡は、大きなむら、あるいは小さなくにのあとだと、考えられています。
- (6) くにのかしらを [ ] といいます。

**2** 問いに答えましょう。

- (1) 米をたくわえるようになって、人びとの間にうまれてきた差は何ですか。2つあげなさい。 [ ] と [ ]
- (2) 大ぜいの人をさしずする、身分の高い人を何といいますか。 [ ]
- (3) 小さなむらが大きなむらになり、やがてうまれてきたのは何ですか。 [ ]
- (4) くにを治めた人を何とよびますか。 [ ]

**3** 次の文の [ ] にあてはまることばを、下から選んで書き入れなさい。

- (1) 米づくりが広がると、各地に登呂のような〔① 〕ができてきました。むらには、〔② 〕をつくったり、たねまきや収穫いとかくをしたりする仕事のさしずや、豊作ほうさくをいのる〔③ 〕を行うかしらがあらわれました。
- (2) 力の強いむらは、〔① 〕むらをしたがえて大きなむらになり、広い〔② 〕を治めるくにとなりました。吉野ヶ里遺跡よしのがりにせきは、こうした大きなむら、あるいは小さなくにのあとと考えられています。むらやくにどうしの〔③ 〕に敗れて、ほりよになった人びとは、どれいにされました。いっぽう、くにのかしらは、大きな力をもつ〔④ 〕となっていきました。

祭り かり 豪族 むら 水田 戦い 弱い 地域

● きみの歴史の学習も「むら」から「くに」へと進んできたようだね。それでは、どことなくがあったのかみていくことにしよう。

## 学習しよう！

### なのおくに 奴国にとどいた きんいん 金印

中国の古い歴史の本には、日本のくにのことが書かれています。それによると、1世紀の中ごろ日本の奴国から、みつぎものを持った使いが中国にやってきたそうです。奴国の豪族（かしら）は、文化の進んだ中国の皇帝に、自分がかしらであることをみとめてもらおうとしたのでしょう。

中国の皇帝は、この使いに「漢委奴国王」と書いた金印をさずけたといえます。日本にある奴国のかしらであることをみとめたはんこを送ったのですね。

この金印は、江戸時代に博多湾（福岡県）にある志賀島で見つかりました。

### 大きなくに・邪馬台国

大きなくにがうまれてきました。

中国の歴史の本に登場する邪馬台国は、30あまりの小さなくにをしたがえた大きなくにです。このくにの豪族（かしら）は、卑弥呼という女性で、中国の皇帝にみつぎものを送ったと書かれています。しかし、邪馬台国のあった場所については、右上の図のようにたくさんの説があり、はっきりしていません。

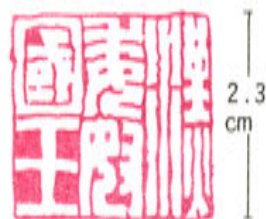
登呂のような小さなむらがしだいに大きくなり、小さなくにとなっていきましたね。そして、弥生時代の終わりの3世紀ごろには邪馬台国のような大きなくにがうまれてきたのです。

大きなくにがうまれてくる

### チェック 金印

金印の文字のうち、「漢」は当時の中国の国名、「委」は「倭」の略字で、当時の日本のよび名です。

このころ日本にあったくにの豪族（かしら）は、中国の歴史の本では「王」とよばれています。「奴国王」は、奴国の豪族という意味になりますね。



漢委奴国王と書いてある金印

### チェック 卑弥呼

中国の魏という国のことを書いた歴史の本では、邪馬台国の女王とよばれていますが、どのような人だったかは、よくわかっていません。

この本によると、3世紀のはじめ、卑弥呼からの使いが来たので、魏の皇帝は「親魏倭王」という金印をさずけたといえます。この金印は、まだ見つかっていません。



邪馬台国があったといわれている場所

\*\*\*\*\*



### 邪馬台國と女王卑弥呼

中国の歴史の本「魏志」の倭人伝には、邪馬台國のことが次のように書かれています。

「この国の男は、かみの毛を両耳のあたりで結び、布を頭にまき、はばの広い布を着物として体にまきつけている。女は、かみの毛をたばね、大きな布の中央にあなをあけ、そこから首を出して着ている。稲や麻を植え、かいこをかい、織物をつくっている。人びとは、はだして歩き、食べ物は手づかみで食べている。身分のちがいははっきりしていて、身分の低い者が高い者と道で出会うと、道ばたの草むらによけ、話をするときはひざまずく。

王は、もと男であったが、争いがおこり戦いが続いたので、卑弥呼という女性を王にたてた。卑弥呼は、まじないを行って人びとをしたがえている。女王になってからは、ほとんど人に会わず、1000人の女の召使いが身のまわりの世話をしている。宮殿には、物見やぐらやさくを設け、いつも、武器をもった兵士が守りにっている。」

遠いむかしの邪馬台國を、この文から想像してみましょう……。

\*\*\*\*\*



答えは 4 ページ

#### 4 漢字で書きましょう。

- (1) なのくに [            ]      (2) はかたわん [            ]  
 (3) やまたいこく [            ]      (4) ひみこ [            ]

#### 5 [    ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 1世紀の中ごろ、中国の皇帝が日本の [            ] の豪族に金印を送りました。  
 (2) 奴国に送られた [            ] は、博多湾の志賀島で見つかりました。  
 (3) 3世紀になると、30あまりのくにをしたがえた [            ] のような  
 大きなくにがうまれました。  
 (4) 邪馬台國を治めていたのは、 [            ] という女性です。

#### 6 問いに答えましょう。

- (1) 中国の皇帝が奴国の豪族に金印をさずけたのは、いつごろのことですか。 [            ]  
 (2) 邪馬台國は、いつごろあったくにですか。 [            ]  
 (3) 邪馬台國のような大きなくにがうまれたのは、何時代の終わりごろですか。 [            ]  
 (4) 邪馬台國のことは、どこの国の歴史の本に書かれていますか。 [            ]

- 邪馬台国の所在地を、きみがつきとめてみないかい？ とても無理だって？ そんなことはないよ。今でも、たくさんの人たちが、このなぞについて研究しているんだ。きみにも、大発見のチャンスがあるんだよ。

## 🍀 まとめのトレーニング

答えは 5 ページ

### 7 [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 米のたくわえができるようになると、むらのなかに貧<sup>ひん</sup>富<sup>ふ</sup>と [ ] の差がうまれてきました。
- (2) 米づくりの仕事のさしずや、祭りを行う [ ] があらわれました。
- (3) 大きなむらは、広い地域を治め、小さな [ ] がうまれてきました。
- (4) 佐賀<sup>さが</sup>県の [ ] 遺<sup>い</sup>跡<sup>せき</sup>は、大きなむら、あるいは小さく<sup>く</sup>にのあとだと考えられています。
- (5) 1世紀の中ごろ、中国の皇帝<sup>こうてい</sup>が日本の [ ] の豪族<sup>ごうぞく</sup>に金印<sup>きんいん</sup>を送りました。
- (6) 3世紀になると、30あまりのくにをしたがえた [ ] のような大きなくにがうまれました。

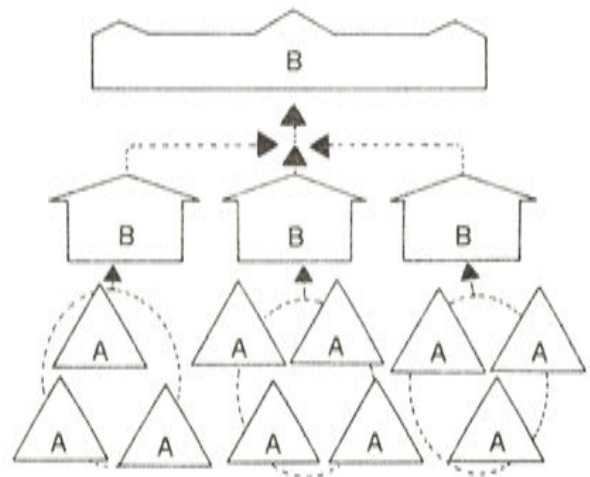
### 8 右の図を見ながら、問いに答えなさい。

- (1) 次の文の [ ] にあてはまることばを入れなさい。

この図でもわかるように、力の強いむらが力の〔①〕むらをしたがえ、やがて、小さな〔②〕をつくっていったのです。

これらのむらの中心となった人を〔③〕といい、くになってからは、さらに大きな力をもつ〔④〕になりました。

むらやくにどうしの戦いに敗れて、ほりよになった人びとは、どれいにされて、つらいめにあいました。こうして、人びとの間に、ますます〔⑤〕と〔⑥〕の差が広がっていきました。



- (2) 図のAには、どんなことばを入れたらよいでしょうか。 [ ]
- (3) 図のBには、どんなことばを入れたらよいでしょうか。 [ ]

9 右の文を読んで、問いに答えなさい。

- (1) これは、何という国のようすを書いたものですか。 [ ]
- (2) 何時代にあたりますか。 [ ]
- (3) どこに書かれていたものですか。 [ ]
- (4) [A] にあてはまる名前を書きなさい。 [ ]

身分のちがいははっきりしていて、身分の低い者が高い者と道で出会うと、道ばたの草むらによけ、話をするときはひざまずく。  
王は、もと男であったが、争いがおこり戦いが続いたので、[A]という女性を王にたてた。

10 次の文は、大むかしから「くに」ができるころまでの歴史を、かんたんにまとめたものです。[ ] にあてはまることばを、下から選んで入れなさい。

- (1) 大むかしの〔① 〕時代の人びとは、〔② 〕や漁をして、ときには、えものを求めて〔③ 〕いました。
- (2) 〔① 〕が始まり、〔② 〕時代になると、人びとは低地に〔③ 〕、「むら」をつくり、身分や〔④ 〕の差がうまれました。「むら」は「〔⑤ 〕」へと発展し、さらに〔⑥ 〕のような大きなくにへと発展していくのです。

弥生 縄文 くに 邪馬台国 かり 貧富  
移り住んで 住みついて 米づくり

11 次の問いに答えなさい。

- (1) むらのかしらは、どんなことを行いましたか。かんたんに2つのべなさい。  
[ ]  
[ ]
- (2) くにのかしらは、何とよばれましたか。 [ ]
- (3) 奴国の豪族が、中国の皇帝から金印をさずけられたのは、いつごろですか。  
[ ]
- (4) 奴国に送られた金印が見つかった志賀島は、何湾にありますか。  
[ ]

(5) 邪馬台国やまたいこくのような大きなくにがうまれてきたのはいつごろですか。

[ ]

(6) 奴国なごくにや邪馬台国やまたいこくのことは、何から知ることができますか。

[ ]

● 答え合わせをしよう。

弥生時代について、ずいぶんものしりになったね。ついでに、中国の歴史の本についても、もっとものしりになってしまおう！



### 中国の歴史の本を調べて

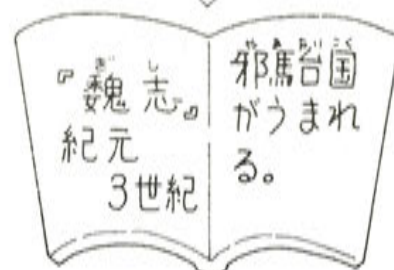
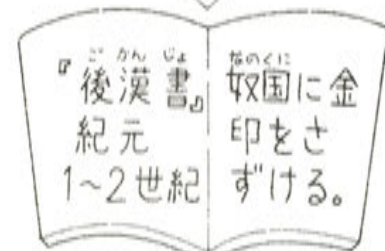
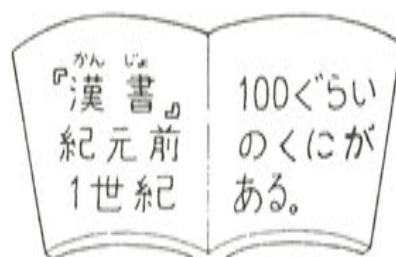
大むかしの歴史を調べるには、遺跡いせきなどを手がかりにする考古学こうこがくという学問が役立ちます。さらに、文字で残された大むかしの記録があれば、もっとくわしくわかります。しかし、残念ながら日本では、弥生時代やよいまでは文字がなかったのです。

ところが、となりの中国には、古くから文字があり、歴史の本が書かれていました。そして、その本のなかに、日本のことも出てくるのです。

日本のことを書いたもっとも古い歴史の本は、「漢書かんじゆ」です。それには、紀元前きげんぜん1世紀ごろの日本が、100ぐらいの小さなくにに分かれ、中国へみづぎものを送ってきているとあります。

奴国なごくにのことは、「後漢書ごかんじゆ」という本に書かれています。そして、「魏志ゑいし」という本に、邪馬台国やまたいこくの話が出てくるのです。

こうして、日本の古い歴史は、中国の歴史の本を手がかりにして、知ることができるのです。





## 第6日から第8日

# 復習をしよう！

🍎 第6日から第8日までの学習をふりかえって、弥生時代を中心に復習をしておこう。答え合わせと得点を出すことも忘れずにね！

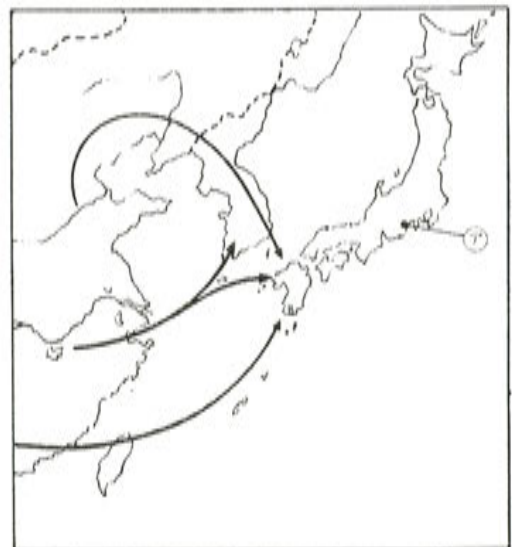
答えは5ページ

**問 1** 次の文の〔 〕にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 静岡市の登呂遺跡から、長方形の〔 〕が見つかりました。
- (2) 米づくりの技術は、今からおよそ2300年前に、〔 〕や朝鮮から九州北部に伝えられたと考えられています。
- (3) 米づくりが始まると、大ぜいの人びとがいっしょに住みつくようになり、〔 〕が各地にできました。
- (4) 大きなむらは、広い地域を治め、小さな〔 〕がうまれてきました。
- (5) 形のどとのった、うすくてかたい土器を〔 〕といいます。
- (6) 弥生時代は、およそ2200～2300年前から〔 〕ごろまで続きました。

**問 2** 右の地図を見ながら、問いに答えなさい。

- (1) 1800年前の水田あとが見つかった、㉠の遺跡を何といいますか。〔 〕
- (2) 地図中の矢じるしは、ある技術が日本に伝わったと思われる道すじを示しています。何の技術ですか。  
〔 〕
- (3) (2)の技術が伝わったのは、いつごろですか。  
〔 〕
- (4) (2)の技術とともに、およそ2200～2300年前、金属の道具が伝わりました。そのうち、木製の農具をつくるのに使った道具をまとめて何といいますか。〔 〕





**問 3** 右の絵と写真を見て、問いに答えなさい。

(1) ①の建物は、何に使用しましたか。 ①

[ ]

(2) ②の土器を何といいますか。

[ ]

(3) ①、②を利用していた時代を何と  
いいますか。 [ ]

(4) 米づくりが始まって、人びとの住まいの場所は、どう変化したでしょうか。か  
んたんについていいますか。 [ ]

(5) むらのかしらは、おもにどんな仕事をしましたか。2つ答えなさい。

[ ]

[ ]



②



**問 4** 年表を見ながら、問いに答えなさい。

(1) アにあてはまる時代は、何ですか。

[ ]

(2) むらは、しだいに大きくなり、く  
にになりました。くにのかしらを何  
といいますか。 [ ]

(3) ①の金印が見つかった島は、九州  
の何湾にありますか。 [ ]

(4) ウにあてはまるくにの名まえを書  
きなさい。 [ ]

世紀	時代	年代	おもなできごと
紀元前	縄文時代	およそ 2300年前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米づくりの技術が伝わる</li> <li>・鉄器・青銅器が伝わる</li> <li>・弥生土器</li> </ul>
(元年)			
1	ア		<ul style="list-style-type: none"> <li>・奴国に①金印が送られる</li> <li>・登呂のむらができる</li> <li>・卑弥呼の治める②ができる</li> </ul>
2			
3			

弥生時代の年表



やっと終わった!

〈配点〉 問1・各5点 問2・各5点  
問3・各5点 [(5)は、1つ5点]  
問4・各5点

100点



## 日本の国のなりたち

### こふん 古墳がつくられた時代

🍎 4月号も、いよいよあと少し。気持ちをひきしめてとりくもうね。

きみは、先祖の墓にお参りに行ったことがあるかな。今からおよそ1500～1600年前に、日本では、右のような大きな墓がさかんにつくられたんだよ。これを古墳こふんというんだ。

どうして、こんな古墳がつくられたのかな。それに、いったいだれの墓だったんだろうね。

まず、古墳調べから始めよう。



だいせんこふん じんとくてんのうりょう  
大山古墳（仁徳天皇陵といわれている古墳）

この古墳は、ほりの内がわの部分で、長さ約486メートル、はば約305メートル、高さ35メートルもあり、面積では世界一大きな墓です。

### ●きょうのテーマ●

古墳からは、どのようなことがわかるだろうか。



### 学習しよう！

#### 大きな古墳

墳といえます。

堺市さかい（大阪府）にある大山古墳だいせんこふん（仁徳天皇陵じんとくてんのうりょうといわれている古墳）は、10万4000平方メートルの面積をもち、まわりには三重のほりがめぐらされています。墓としては、世界一の面積です。

形をみると、前が方形ほうけい（四角形）で、後ろが円形ですね。この形の古墳を、前方後円墳ぜんぽうこうえんこふんといえます。

こんな大きな古墳をつくるには、よほど大きな力がなければなりません。この古墳がつくられた場所は、もともと

### こふん 古墳調べ

📍チェック 大山古墳



大山古墳  
（大阪府）

は、平らな土地でした。ここに山のように土を運んだので  
すから、とてもたいへんな工事だったのです。

この土の量は、今の  
5トントラックでおよ  
そ56万台分にあたりま  
す。大きな道具や機械  
のなかった当時の人び  
とは、先に鉄をつけた  
くわやすきで土を掘り、  
草木でつくったものに  
つめて運んだと思われ



古墳をつくる人びと（想像図）

ます。1日に1000人ずつ働いたとしても、4年以上はかか  
っただろうと計算されています。

**さまざまなのはにわ** 仁徳天皇陵といわれている古墳  
をみると、一面に木がしげっていますね。しかし、当時は、  
古墳の表面は、びっしりと石でおおわれ、まわりには、2  
万個ものはにわがならべられていました。

はにわとは、人や家など  
をかたどった土器で、死ん  
だ豪族をなくさめるため  
におかれたと考えられてい  
ます。はにわかからは、当時  
の服そうやくらしのようす  
を知ることができます。



古墳時代のくらしがわかるはにわ

この他、古墳のまわりや  
内部からは、鏡やまが玉、**つるぎ** 剣など、死んだ豪族の宝ものや  
使っていたものが見つかっています。

**チェック** 先に鉄をつけ  
たくわ



**チェック** はにわ

はにわには、人や家をか  
たどったもののほか、つつ  
形のはにわ(円どうはにわ)  
があります。これは、土が  
くずれるのを防ぎ、また、  
古墳の範囲を示すために  
ならべられたと考えられて  
います。

**チェック** 鏡やまが玉

鏡は、青銅でつくられて  
いて、表は平らでみがか  
いてあり、裏には下のような  
かざりがしてありました。

まが玉は、ひすいという  
緑色の透明な石などでつく  
られていて、首かざりなど  
に使われました。



鏡 まが玉

**🍎** 大きなトラックで何十万台分もの土を、力仕事で運んだなんて、おどろきだね。  
学習も、1つずつ確実に積みあげていけば、大きな成果につながるよ。さあ、トレ  
ーニングしよう。

① 漢字で書きましょう。

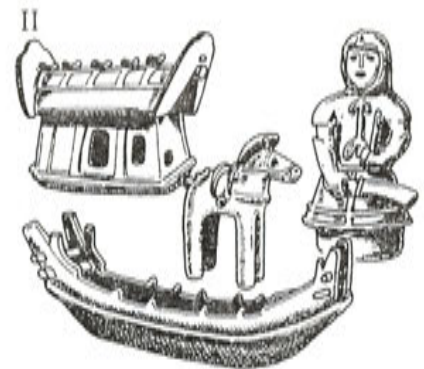
- (1) こふん〔            〕      (2) ぜんぽうこうえんふん〔            〕  
 (3) だいせんこふん〔            〕

② 〔    〕にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 各地を治めていた豪族の大きな墓を〔            〕といます。  
 (2) 前が方形で、後ろが円形の古墳を〔            〕といます。  
 (3) 古墳のまわりにならべられた、人や家をかたどった土器を〔            〕と  
 います。

③ 次の問いに答えなさい。

- (1) Iのような豪族の大きな墓を何といいますか。  
 〔            〕  
 (2) Iのような形の古墳を何といいますか。  
 〔            〕  
 (3) IIのような土器を何といいますか。  
 〔            〕  
 (4) IIは、どこにならべられていましたか。  
 〔            〕



- (5) ①～②の文の〔    〕にあてはまることばを下から選んで書き入れなさい。  
 ① 堺市にある〔            〕は、  
 墓としては世界一の面積です。  
 ② 古墳の表面は〔ア    〕でおおわれ、まわり  
 には、〔イ    〕や家などをかたどったはにわがならべられていました。そのほか、  
 古墳からは、〔ウ    〕やまが玉、剣などがみつかります。

金印   石   人   鏡   大山古墳

🍎 大きな古墳がつけられた時代をまとめることにしよう。



## 学習しよう！

## 古墳がつくられた時代

### 豪族の力をしめす

なぜ、こんな大きな古墳をついたのでしょうか。それは、大きな古墳をつくることによって、豪族は、力の大きさを人びとにしめそうとしたのです。ですから、死ぬ前に古墳をつくる豪族もいました。また、死んだ豪族のためにりっぱな古墳をつくった人が、そのあとをついだようです。

このような古墳は、4世紀から6世紀ごろまで、さかんにつくられました。この時代を、古墳時代といいます。

### 古墳の分布をみる

前方後円墳の分布を地図で調べてみましょう。

前方後円墳は、九州地方から東北地方の南部まで広く分布していますね。とくに近畿地方には、多く分布しています。



前方後円墳の分布

4世紀のはじめごろから4世紀の終わりごろまでの分布図です。

また、前方後円墳の古さや大きさをみると、近畿地方にはつくられた年代が古く、小山のように大きなものが多くあります。九州地方や関東地方などには、わりあい新しくて小さなものが多くみられます。

このことから、前方後円墳は、近畿地方でつくられ始め、やがてまわりの地方の豪族も、これを見ならってつくるようになったと考えられます。近畿地方には、はやくから大きな古墳をつくる、力のある豪族がいたのでしょうか。

りっぱな墓をつくること  
が、豪族としての力をあ  
らわすなんておもしろいな。



### チェック 前方後円墳の分布

関東地方…新しくて小さな古墳

↑  
近畿地方…古くて大きな古墳

↓  
九州地方…新しくて小さな古墳

つぎはトレーニング！



4 [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 豪族<sup>ごうぞく</sup>たちは、[ ] をつくることで力の大きさを人びとにしめしました。
- (2) 古墳<sup>こふん</sup>がさかんにつくられた4世紀から6世紀ごろまでを [ ] といいます。
- (3) 前方後円墳<sup>ぜんぽうこうえんふん</sup>は、[ ] 地方を中心に、九州地方や東北地方南部へと広がっていきました。

5 右の図を見ながら問いに答えましょう。

- (1) 何という古墳<sup>こふん</sup>の分布をしめしていますか。  
[ ]
- (2) 古墳<sup>こふん</sup>がさかんにつくられたのはいつごろですか。 [ ]
- (3) 古墳をつくった人は、だれですか。  
[ ]
- (4) 古墳は、どんな目的でつくられましたか。  
[ ]
- (5) 古くて大きな前方後円墳<sup>ぜんぽうこうえんふん</sup>が多く分布しているのは、どの地方ですか。 [ ]



6 次の文の [ ] にあてはまることばを、下から選んで書き入れなさい。同じことばを何度使ってもかまいません。

- (1) つくられた年代が古く、小山のように〔① 〕な前方後円墳<sup>ぜんぽうこうえんふん</sup>は、〔② 〕地方に多く分布しています。わりあい新しく〔③ 〕なものは、〔④ 〕地方や関東地方などに多く分布しています。
- (2) 前方後円墳<sup>ぜんぽうこうえんふん</sup>は、〔① 〕地方でつくられ始め、まわりの地方へ広がっていきました。〔② 〕地方には、はやくから力のある豪族<sup>ごうぞく</sup>がいたと考えられます。

近畿    九州    大き    小



7 [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 各地を治めていた [ ] の大きな墓を古墳こふんとといいます。
- (2) 前が方形ほうけいで、後ろが円形の古墳を [ ] とといいます。
- (3) 古墳のまわりにならべられた、人や家などをかたどった土器どきを [ ] とといいます。
- (4) 古墳こふんがさかんにつくられた [ ] から6世紀ごろまでを古墳時代と  
いいます。
- (5) 前方後円墳ぜんぽうこうえんふんは、 [ ] 地方でつくられ始め、九州地方や東北地方南部へと  
広がっていきました。

8 次の問いに答えなさい。

- (1) 古墳こふんがさかんにつくられたのは、いつごろですか。  
[ ]
- (2) 古墳がさかんにつくられた時代を何といいますか。 [ ]
- (3) 古墳は、どんな目的でつくられましたか。  
[ ]
- (4) 前方後円墳ぜんぽうこうえんふんとは、どんな形の古墳のことをいいますか。  
[ ]
- (5) 前方後円墳の分布から、はやくから力のある豪族ごうぞくがいたと考えられる地方はどこ  
ですか。 [ ]

9 次の文の [ ] にあてはまることばを下から選んで書き入れなさい。

豪族ごうぞくは、〔①  〕を使い、何年もかけて古墳こふんをつくりまし  
た。このことから、豪族がたいへんな〔②  〕をもっていたことがわかります。  
また、古墳から見つかった〔③  〕によって、当時の服そうやくらし  
のようすを知ることができます。このほか、鏡や〔④  〕、剣など、死ん  
だ豪族の宝ものや使っていたものが見つかっています。

金印    カ    まが玉    はにわ    くに    多くの人びと    鏡

● 答え合わせがすんだら、ものしりコーナーを読んで、古墳についてもっとものしりになろう！



## いろいろなかたちの古墳

右の絵は、つくられたころのままに復元された、五色塚古墳のようすです。古墳には、木も草もまったくはえていませんよ。つくられたときには、石や土でおおわれていたのです。この五色塚古墳のようなかたちを前方後円墳ぜんぽうこうえんふんとよみましたね。

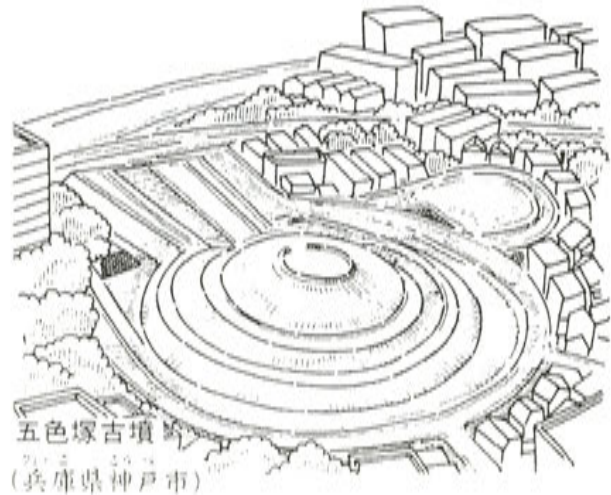
ところで、古墳には、他にどんなかたちがあるでしょうか。右下の絵を見てみましょう。

おわんをふせたようなかたちの古墳を円墳えんふんとよみます。古墳時代のはじめごろは、豪族ごうぞくの墓でした。しかし、古墳時代の終わりごろには、全国に広まり、豪族だけでなく、豊かな農民も、墓として小さな円墳をつくるようになりました。

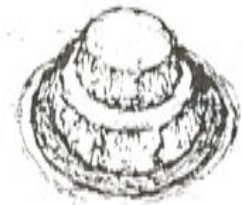
上から見ると正方形で、上部がたいらになったものを方墳ほうふんとよみます。古墳時代の中ごろ、各地の豪族の墓としてつくられましたが、6世紀以降には天皇てんのうの墓にも使われました。

円墳や方墳には、五色塚古墳のような大きなものがみられないのが特色です。

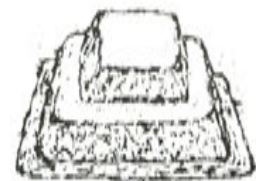
このように、古墳にはいろいろなかたちがあったのですね。時代によって、多いかたち、少ないかたちとちがいはありますが、古墳のかたちや大きさは、身分のちがいや力の強さ、技術や人びとの考え方の変化と、深い関係があったようです。



五色塚古墳  
(兵庫県神戸市)



円墳



方墳





## 日本の国のなりたち

### やまとちようてい 大和朝廷と大陸の文化

第9日で、前方後円墳は、近畿地方から九州、東北地方南部へと広がっていったことを覚えてね。近畿地方には、はやくから大きな古墳をつくることのできる、力のある豪族がいたんだね。

ところで、いくつかのくにに分かれていた日本が、1つの国としてまとまってくるのは、いつごろなんだろう…。実は、このことは、古墳の分布と関係があるんだよ。えっ？ どんな関係かって？ それは、学習してのお楽しみ！



#### ●きょうのテーマ●

どのようにして、日本の国のもとができたのだろうか。

### 学習しよう！

### やまとちようてい 大和朝廷の成立

#### やまとちようてい 大和朝廷ができる

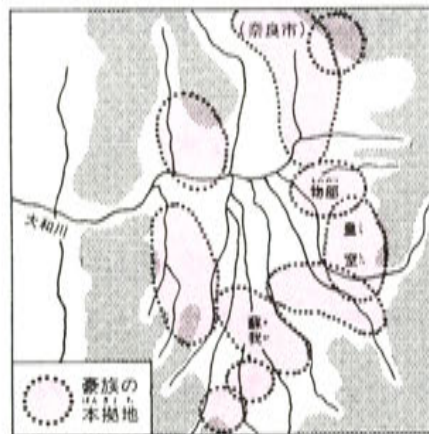
大きな前方後円墳が、たくさんつくられた近畿地方は、はやくから大豪族がくにを治めていました。

とくに、奈良盆地（奈良県）には、力の強い豪族がひしめきあっていました。その豪族たちは、4世紀のはじめに、1人の豪族を中心にまとまり、連合して大きな国をつくりました。奈良県のあたりを、むかしは大和とよんだので、この政

大きな前方後円墳が、たくさん

つくられた近畿地方は、はやくから大豪族がくにを治めて

いました。



大和地方の豪族の分布

#### チェック 奈良盆地



府を大和朝廷といいます。

大和朝廷の中心になった豪族のかしらは、<sup>おおきみ</sup>大王とよばれました。大王は、のちに<sup>てんのう</sup>天皇とよばれ、今の<sup>こうしつ</sup>皇室（天皇の一族）の<sup>そせん</sup>祖先となりました。

**大和朝廷の広がり** 大和朝廷は、各地の豪族をしたがえていき、4世紀後半から5世紀のころには、九州地方から東北地方南部にまで勢力をのばしました。

これは、近畿地方でさかんにつくられた前方後円墳が、4世紀の終わりごろに、九州地方や東北地方南部へと広がっていったことといっちしています。前方後円墳の広がり、大和朝廷が各地の豪族をしたがえていく道すじと同じだったのですね。

🍎 ここで、トレーニングだよ。

## **トレーニング**

答えは 6 ページ

**1** [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 4世紀のはじめ、<sup>やまと</sup>大和地方の<sup>ごうぞく</sup>豪族が連合して [ ] をつくりました。
- (2) <sup>やまとちやうてい</sup>大和朝廷の中心になった豪族のかしらは、 [ ] とよばれました。
- (3) 大和朝廷は、 [ ] 後半から5世紀のころには、九州地方から東北地方南部にまで勢力をのばしました。

**2** 問いに答えましょう。

- (1) <sup>やまと</sup>大和地方とは、今の何県にあたりますか。 [ ]
- (2) 大和の<sup>ごうぞく</sup>豪族が連合してつくった政府を何といいますか。 [ ]
- (3) <sup>ちやうてい</sup>大和朝廷ができたのは、いつごろですか。 [ ]
- (4) 大和朝廷は、5世紀のころまでに、どこからどのあたりまで勢力をのばしましたか。 [ ]
- (5) 大和朝廷の中心になった豪族のかしらを何といいますか。 [ ]
- (6) <sup>おおきみ</sup>大王は、のちに何とよばれるようになりましたか。 [ ]

### 🔍 **チェック** <sup>やまとちやうてい</sup>大和朝廷

朝廷とは、<sup>おおきみ</sup>大王など国の支配者が政治を行う所をいいます。

大和朝廷は、<sup>せいげん</sup>大和政権、または<sup>おうげん</sup>大和王権ともいいます。

🍎 やまとちやうてい 大和朝廷が、勢いをのばしたわけは何だろう？ いろいろ考えられるけれど、すぐれた文化や技術をもっていたことがあげられるよ。次の学習に入ろう。

## 🍎 学習しよう！

### 大陸文化の伝来

中国や朝鮮から移り住んだ人びと 大和朝廷は、

文化の進んだ中国や朝鮮とのいききをさかんに行いました。中国や朝鮮から、日本に移り住む人びとも多くなりました。これらの人びとは、渡来人とよばれました。

渡来人は、鉄の武器や農具、織物やどう器のつくり方、建築や土木工事の技術、用水路やため池をつくり、水のないとこに水田をひらく方法などを伝えました。

豪族たちは、先を争って進んだ知識や技術を受け入れ、水田をひらき、大きな古墳をつくりました。なかでも、積極的にこうした大陸文化をとり入れた大和朝廷が、各地の豪族をしたがえて国土の統一を進めていったのです。

漢字と仏教・儒教 5世紀のころには、中国の文字である漢字が伝わりました。漢字は、大和朝廷の政治を記録したり、命令を遠くへまちがいなく伝えたりするのに役立ちました。

また、インドのシャカの教えである仏教や、中国の孔子の教えである儒教が伝えられました。仏教は、この世のなやみや苦しみからだつする道を説いたものです。儒教は、身をおさめる道徳や国を治める政治の道を説いたものです。

どちらもこののち、日本の政治や文化に大きないきょうをあたえました。



稲荷山古墳の鉄剣拡大図  
行田市（埼玉県）の稲荷山古墳から、漢字のきざまれた鉄剣が見つかりました。この鉄剣には、この地方の豪族が、大和朝廷につかえていたことが書かれています。

👉チェック 渡来人がやってきたわけ

4世紀から5世紀ごろ、中国や朝鮮では、争いがはげしかったので、これをさけて日本に移り住む人がふえたのです。

また、大和朝廷が、進んだ技術をもった人をまねいたり、強制的につれてきたりしたこともあったと考えられます。

文字が伝わるまでは、話を暗記しては、他の人に伝えていたんですって。



🍎 中国や朝鮮から伝わった大陸文化のなかみを、きちんとまとめておこう。

## トレーニング

答えは 6 ページ

3 [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 中国や朝鮮から日本に移り住んだ人びとを [ ] といいます。
- (2) 渡来人が伝えた大陸の進んだ知識や技術を [ ] といいます。
- (3) 5世紀のころ、中国の文字である [ ] が伝わりました。
- (4) インドのシャカの教えである [ ] が伝わりました。
- (5) 中国の孔子の教えである [ ] が伝わりました。

4 問いに答えましょう。

- (1) 中国や朝鮮から日本に移り住んだ人びとを何といいますか。 [ ]
- (2) 渡来人とよばれる人びとは、どこから来ましたか。 [ ]
- (3) 大陸から伝えられた文化を何といいますか。 [ ]
- (4) 大陸から日本に伝わった文字は、何ですか。 [ ]
- (5) 漢字が日本に伝わったのは、いつごろですか。 [ ]
- (6) 大陸から日本に伝わったシャカの教えを何といいますか。 [ ]
- (7) 大陸から日本に伝わった孔子の教えを何といいますか。 [ ]

5 次の文の [ ] にあてはまることばを、下から選んで書き入れなさい。

- (1) 渡来人は、〔① 〕の武器や農具、織物やどう器のつくり方、建築や〔② 〕の技術、用水路やため池をつくり、水のないところに〔③ 〕をひらく方法などを伝えました。
- (2) 豪族たちは、争って進んだ知識や〔① 〕を受け入れ、水田をひらき、大きな古墳をつくりました。なかでも、積極的にこうした大陸文化をとり入れた〔② 〕が、各地の豪族をしたがえて国土の統一を進めました。
- (3) インドの〔① 〕の教えである仏教は、この世のなやみや苦しきからだつする道を説いたものです。中国の孔子の教えである儒教は、身をおさめる道徳や国を治める〔② 〕の道を説いたものです。

技術 政治 シャカ 鉄 大和朝廷 水田 土木工事

🍎 きょうは、大和朝廷の成立と大陸文化の伝来について学習したね。

## 🍎 まとめのトレーニング

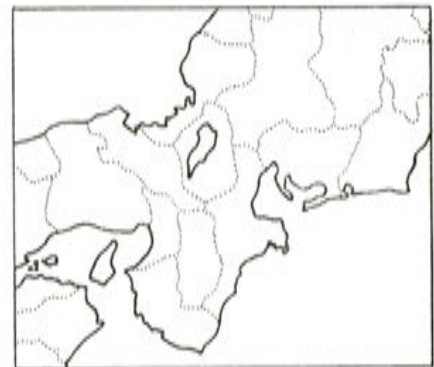
答えは 6 ページ

6 [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 4世紀のはじめ、大和地方の豪族が連合して [ ] をつくりました。
- (2) 大和朝廷の中心になった豪族のかしらは、 [ ] とよばれました。
- (3) 大和朝廷は、 [ ] 後半から5世紀のころには、九州地方から東北地方南部にまで勢いをのばしました。
- (4) 中国や朝鮮から日本に移り住んだ人びとを [ ] といいます。
- (5) 5世紀のころ、中国の文字である [ ] が伝わりました。
- (6) インドのシャカの教えである [ ] が伝わりました。
- (7) 中国の孔子の教えである [ ] が伝わりました。

7 大和朝廷について、問いに答えなさい。

- (1) 朝廷ができたのは、いつごろですか。  
[ ]
- (2) 朝廷は、奈良県のどのあたりにできましたか。  
① [ ]  
また、奈良県は、むかし何とよばれていましたか。 ② [ ]
- (3) 朝廷は、どういう人たちによってつくられましたか。 [ ]
- (4) 朝廷は、5世紀のころまでに、どこからどのあたりまで勢いをのばしましたか。  
[ ]
- (5) 朝廷の統一とともに、各地の豪族に広がっていったのは、何をつくることですか。 [ ]
- (6) 上の地図で、奈良盆地の位置に 印を記入しなさい。



8 次の問いに答えなさい。

- (1) 大和朝廷が、文化をとり入れるためにいききをさかんに進めたのは、どこですか。 [ ]
- (2) 大陸の進んだ知識や技術を伝えた人びとを何といいますか。 [ ]
- (3) 5世紀のころに伝えられた文字は、何ですか。 [ ]
- (4) 中国の孔子やインドのシャカという人の教えが伝えられました。それぞれ何という教えですか。 ①孔子の教え [ ] ②シャカの教え [ ]
- (5) (3)~(4)のほかに、このころ日本に伝えられた知識や技術を下から選んで2つ書きなさい。 [ ]  
[ ]

鉄の武器や農具のつくり方 米づくりの技術 建築や土木工事の技術

- (6) 大和朝廷が、国土の統一を進めることができたわけを、下のことばを使って説明しなさい。

【 中国や朝鮮 大陸文化 】

[ ]

9 表の [ ] にあてはまることばを下から選んで書き入れなさい。

古墳時代のまとめ

- 期間 → 〔①〕から6世紀ごろ
- ・ 4世紀はじめ ……大和朝廷ができる。近畿地方に、大きな〔②〕がつくられる。
- ↓
- 〔③〕をとり入れて、国土の統一を進める。
- ↓
- ・ 4~5世紀ごろ……大和朝廷が九州地方から〔④〕地方南部まで勢いをのばす。前方後円墳も広がる。

前方後円墳 東北 米づくり 4世紀 大陸文化 弥生土器

🍎 答え合わせが終わったら、ひとやすみしてものしりコーナーを読もう。



## ヤマトタケルノミコトの物語

朝廷は8世紀のはじめ、大むかしからの神話や伝説、記録などを集めて、「古事記」という歴史の本をつくりました。そのなかには、つぎのような話が書かれています。

むかし、オウスノミコトという皇子（天皇の子ども）がいました。皇子は天皇の命令で、大和朝廷にしたがおうとしない九州のクマソ兄弟を、たった1人でうちに行きました。そして、少女に変装してクマソ兄弟をゆだんさせ、うち取りました。その後、ヤマトタケルと名をかえ、山陰地方のイズモタケルもうちました。



オウスノミコトはむすめに化けてクマソタケル兄弟を殺し、これ以後名まえをヤマトタケルと改めました。

こうして西日本をしたがえた皇子は、やすむひまなく、こんどは東日本をしたがえるために出発しました。今の静岡市のあたりまで来たとき、敵にだまされて野原にさそいこまれ、火に囲まれてしまいました。しかし皇子は、剣で草をきりはらい、火のもえ広がる向きをかえ、逆に敵をたおしました。

東日本もしたがえた皇子は、大和へ帰るとちゅう病気にかかり、今の三重県のあたりでなくなりました。皇子のたましいは、白い鳥にすがたをかえ、大和へ飛んでいったということです。

ヤマトタケルノミコトは、実際にいた人物ではありません。この話は、大和朝廷が各地の豪族と戦い、したがえていった話を、1人の英雄の物語としてまとめたものです。実際には、大王（のちの天皇）の命令で、多くの将軍や兵士が、西に東に派遣され、苦しい戦いを続けながら、大和朝廷の勢力をのばしていったのでした。



第9日から第10日

復習をしよう！

🍎 古墳時代の復習だよ。もう、かんたん。さっとすませてしまおうね。

答えは6ページ

問 1 次の文の〔 〕にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 豪族たちは、〔 〕をつくることで力の大きさを人びとにしめしました。
- (2) 前が方形で、後ろが円形の古墳を〔 〕といいます。
- (3) 古墳のまわりにならべられた、人や家などをかたどった土器を〔 〕  
といいます。
- (4) 4世紀のはじめ、大和地方の豪族が連合して〔 〕をつくりま  
した。
- (5) 中国や朝鮮から日本に移り住んだ人びとを〔 〕といいます。

問 2 年表を見ながら、問いに答えなさい。

- (1) アにあてはまることばを書き入れ  
なさい。〔 〕
- (2) 大和とは、今の何県にあたります  
か。〔 〕
- (3) 渡来人が伝えた文化を、何とい  
いますか。〔 〕
- (4) ㊶は、中国の孔子の教えです。何  
ですか。〔 〕
- (5) ㊷は、インドのシャカの教えです。  
何ですか。〔 〕

世紀	時代	年代	おもなできごと
3	弥生時代		<ul style="list-style-type: none"> <li>・古墳がさかんにつくられる</li> <li>・大和朝廷ができる</li> <li>・前方後円墳が広がる</li> <li>・大和朝廷が九州地方から東北地方南部にまで勢力をのぼす</li> </ul>
4			
5		ア	
6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・㊷が伝わる</li> </ul>

古墳時代の年表

〈配点〉 問1・各10点 問2・各10点

100点





## 今月のまとめ

# 日本の国のなりたち

- 🍎 4月号の学習は、日本の歴史の出発点だね。大和朝廷やまとちやうていがつけられたころまでを、しっかりまとめをしておこう！

まとめノートの答えは、きょうの学習の最後のページ

### まとめノート

☆ [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

#### 第3日～第5日・かりや漁のくらし

##### ●日本列島の形成

⇒ 3万年以上もむかし、日本はアジア大陸と陸つづきだった。

①野尻湖のじりこからナウマン象かせきの化石やかりの道具が見つかる

⇒ 今からおよそ1万年前に、現在のような日本列島ができる。

##### ●長かった縄文時代じやうもん

⇒ 鳥浜貝塚とりはまかいづかから、大むかしの人びとのくらしがわかる。

①石器せつきなどの道具を使って、[ア] や漁りやうを行う

②とったえものは平等に分け合う

③ [イ] に住み、住まいを移すこともあった

④なわのようなもようのある [ウ] が使われた

⇒ 縄文時代は、今からおよそ1万年前から約8000年間続いた。

#### 第6日～第8日・米づくりのむら

##### ●米づくりの伝来

⇒ 登呂遺跡とろいせきから水田のあとが見つかる。

①今からおよそ2300年前に、[エ] の技術が、中国や

朝鮮ちやうせんから九州北部に伝わる

②低地に大ぜいの人びとが住みついて、各地に [オ] ができる

③今からおよそ2200～2300年前、鉄器てつきや青銅器せいどうきが伝わる

④形のどとのった、うすくてかたい [カ] が使われる

## 重要語チェック

ことばの意味をかたんに言ってみよう

- |                                   |                               |                                 |                                 |
|-----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> かりと漁のくらし | <input type="checkbox"/> 貝塚   | <input type="checkbox"/> 石器     | <input type="checkbox"/> たてあな住居 |
| <input type="checkbox"/> 縄文土器     | <input type="checkbox"/> 登呂遺跡 | <input type="checkbox"/> 吉野ヶ里遺跡 | <input type="checkbox"/> 米づくり   |
| <input type="checkbox"/> むら       | <input type="checkbox"/> 鉄器   | <input type="checkbox"/> 弥生土器   | <input type="checkbox"/> 鳥浜貝塚   |
| <input type="checkbox"/> くに       | <input type="checkbox"/> 豪族   | <input type="checkbox"/> 邪馬台国   | <input type="checkbox"/> 前方後円墳  |
| <input type="checkbox"/> 大和朝廷     | <input type="checkbox"/> 渡来人  | <input type="checkbox"/> 大陸文化   | <input type="checkbox"/> 漢字     |

### ●各地にできるくに

⇒強いむらが広い地域を治め、くにがうまれる。

①貧富や身分の差がうまれ、かしらがあらわれる

②強いむらがくにになり、くにのかしらを〔**キ**〕という

③3世紀ごろ、〔**ク**〕のような大きなくにがうまれる

⇒弥生時代は、およそ2200～2300年前から3世紀ごろまで続く。



おもな遺跡の分布

### 第9日～第10日・大和朝廷の成立

#### ●古墳がつくられた時代

⇒各地を治めていた豪族が古墳をつくって、力をしめす。

①前が方形で、後ろが円形の〔**前方後円墳**〕がつくられる

②古墳のまわりには、はにわがならべられる

#### ●大王を中心に大和朝廷ができる

⇒4世紀のはじめ、大和地方の豪族が連合して大和朝廷をつくる。

①大和朝廷は、九州地方から東北地方南部まで勢いをのばす

②渡来人が漢字などの〔**大陸文化**〕文化を伝える

⇒古墳時代は、4世紀から6世紀ごろまでをいう。

🍎 まどめノートの答えは、きょうの学習の最後のページにあるよ。よくできなかった人は、重要語チェックに目をとおしておこう。さて、次は年表トレーニングだよ。それが終わったら、今月の完成トレーニングに挑戦しよう！

## 🍎 年表トレーニング 🍎 答えは 6 ページ

1 [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

世紀	時代	年代	おもなできごと
紀元前	縄文時代	今から1万年前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在のような〔①〕ができる</li> <li>・ かりや漁<small>かりい</small>のくらし</li> </ul>
		今から2300年前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国や〔②〕から米づくりの技術が伝わる</li> </ul>
	弥生時代	今から2200～2300年前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国や朝鮮<small>ちやうせん</small>から〔③〕や青銅器<small>せいどうき</small>が伝わる</li> </ul>
		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 奴国<small>なのくに</small>に中国の皇帝<small>こうてい</small>から金印<small>きんいん</small>が送られる</li> </ul>
		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地にむらができ、それが小さくなくになる</li> <li>・ 静岡県<small>しずおか</small>の〔④〕にこのころ水田ができる</li> </ul>
		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卑弥呼<small>ひみこ</small>の治める邪馬台国<small>やまたいこく</small>のような大きなくにができる</li> </ul>
		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古墳<small>こふん</small>がさかんにつくられる</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〔⑤〕が九州地方から東北地方南部にまで勢力をのばす</li> </ul>		
古墳時代	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渡来人<small>とらいじん</small>が〔⑥〕や儒教<small>じゆうきやう</small>を伝える</li> <li>・ 仏教<small>ぶつぎやう</small>が伝わる</li> </ul>	
	7		



問 1 縄文時代と弥生時代について、表にまとめをします。〔 〕にあてはまることばを、下から選んで書き入れなさい。

	縄文時代	弥生時代
くらしのようす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かりや漁のくらし</li> <li>・えものを〔②〕に分け合う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〔①〕が広がる</li> <li>・たくわえにより、貧富と身分の差がうまれる</li> </ul>
住まいと場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たてあな住居に住み、丘などの台地</li> <li>・小人数で住み、住まいを移すこともあった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たてあな住居に住み、米づくりのしやすい〔③〕</li> <li>・大ぜいでいっしょに住みつき〔④〕をつくる</li> </ul>
使われた道具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石器</li> <li>・動物の骨・角や木の道具</li> <li>・土器は〔⑥〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石器や骨・角の道具、〔⑤〕の農具</li> <li>・土器は弥生土器</li> <li>・中国や朝鮮から鉄器、〔⑦〕が伝わる</li> </ul>

むら 縄文土器 平等 米づくり 青銅器 木製 低地

問 2 次の〔 〕にあてはまることばや数字を書き入れなさい。

- 大むかしの人びとが、ごみをすてたところを〔 〕といいます。ここからは、骨や貝がら、土器や石器などが出てきます。
- かりや漁のくらしをしていた人びとは、草や木でつくった〔①〕住居に住み、〔②〕土器を使ってくらしていました。
- 静岡市の郊外にある〔①〕遺跡は、今からおよそ〔②〕年前のむらのあとです。この遺跡からは、当時の〔③〕づくりのようすを知ることができます。
- 米づくりがさかんになると、人びとは台地から〔①〕に移り住み、集団でくらすようになりました。こうして、各地にむらができると、大きなむらが小

さなむらをしたがえ、やがて〔②〕ができました。

- (5) 各地に住んでいた〔①〕は、自分のために大きな墓をつくらせました。これを古墳こふんといいます。古墳の中でも、前が方形で、後ろが円形の古墳が〔②〕墳で、大和やまと地方から全国に広まったと考えられています。

**問 3** 次の絵や写真は何ですか。あてはまるものを下から選んで〔 〕に書きなさい。また（ ）には、縄文時代、弥生時代、古墳時代のどれかを書きなさい。



〔①〕  
( )



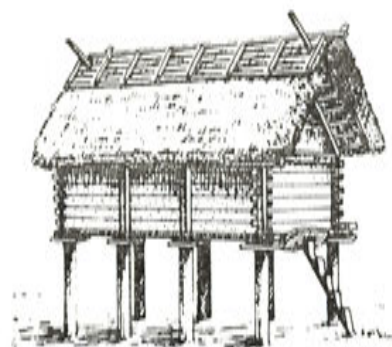
〔②〕  
( )



〔③〕  
( )



〔④〕  
( )



〔⑤〕  
( )



〔⑥〕  
( )

石ぼうちょう    はにわ    縄文土器    銅たく    前方後円墳  
弥生土器    高床式倉庫    たてあな住居    田げた

**問 4** (ア)～(イ)の文を読んで、下の問いに答えなさい。

- (ア) 米づくりが始まると、〔①〕や貧富ひんふの差が生まれてきました。やがて強い「むら」のかしらがまわりの「むら」をしたがえて、小さな「〔②〕」

がつくられていきました。佐賀県の吉野ヶ里遺跡は、大きな「むら」、あるいは小さな「くに」のあとと考えられています。

- (イ) 4世紀のはじめに、大和地方の豪族たちは、まとまって1つの国をつくりました。豪族のかしらとして、この国の中心になったのが〔③ 〕(のちの天皇)です。この国は、大和を中心に、〔④ 〕地方から東北地方南部にまで勢力をのびました。この国は、国土の統一を進める一方で、大陸の進んだ文化をとり入れていきました。

- (1) [ ]にあてはまることばを入れなさい。
- (2) 3世紀の日本には、30ほどの「くに」をしたがえた勢力の強いくにがあったと、中国の歴史書に書かれています。このくには何とよばれていますか。  
[ ]
- (3) 3世紀のころになると、日本の各地には、このくにのような大きなくにが、力の強い豪族によって、いくつもつくられていたようです。4世紀はじめにできた(イ)の国の政府のことを何といいますか。 [ ]
- (4) この国は、(イ)でのべられているように、国土の統一を進めました。このようすは、ある古墳の広まるようすからもわかります。この古墳は何といいますか。  
[ ]
- (5) (イ)で大陸から進んだ知識や技術をもって日本に移り住むようになった人びとを何といいますか。 [ ]
- (6) そうした知識や技術の中で、インドのシャカの教えが伝来しました。その教えを何といいますか。 [ ]

**問 5** 右の図を見て、問いに答えなさい。

- (1) ㉗は、3万年以上もむかしのナウマン象の化石が見つかった湖です。この湖の名まえを答えなさい。  
[ ]
- (2) ㉘は、大むかしの人びとのくらしを伝える鳥浜貝塚です。この貝塚の場所を都道府県で答えなさい。  
[ ]
- (3) ㉙は、登呂遺跡です。この遺跡の場所を都道府県で答えなさい。  
[ ]



(4) ⑤の稲荷山古墳からは、漢字のきざまれた鉄剣てつけんが見つかりました。日本に漢字が伝わったのは、何世紀のことですか。 [            ]

(5) ④は、大和朝廷がつくられたところですか。この場所を都道府県で答えなさい。 [            ]

🍎 完成トレーニングは、むずかしかったかな？ 1日1日の学習をきちんとしていれば、かんたんだね。答え合わせをして、得点とくてんを出しておこう。まちがえた問題は、学習のページにもどって、正しい答えを確かめておこうね。

〈配点〉 問1・各2点      問2・各3点  
          問3・各2点      問4・(1)各3点  
          (2)~(6)各2点    問5・各2点

100点

月まとめノートの答え

- ㊦かり    ①たてあな住居    ㊧縄文土器    ⑤米づくり    ㊨むら    ㊩弥生土器    ④豪族  
㊦邪馬台国    ㊦前方後円墳    ㊨大陸

きみは何点とれた？  
えっ？ほ、ほかい？  
ほくは、まあまあさ。



まあ、つとむくんたら  
ごまかしちゃって。  
また、5月号で今月の  
続きを学習していきま  
しょうね。



おつかれさま!



もっと学習しよう

## 鉄の農具

🍎 今月は、日本のなりたちから国としてまとまるまでを学習してきましたね。中国や朝鮮から、米づくりといっしょに鉄が伝わったことをおぼえているかな。

きみたちのまわりに、どれだけ鉄があるか数えてごらん。机、本ばこ、自転車、自動車、ビル、橋……。ウーン、数えきれないね。

よし、今日は、鉄が日本に伝わってから、人びどの暮らしがどのようにかわったのか、鉄の農具の歴史を勉強してみるよ。



●きょうのテーマ●

鉄の農具の歴史を調べてみよう。



学習しよう！

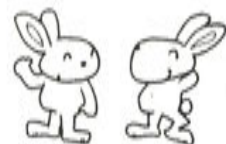
鉄の農具のあゆみ

**鉄の農具** 西日本で米づくりが始まっていた、今からおよそ2200～2300年前のことです。

ある人が、アジア大陸から九州北部に、黒くて、重くて、石器よりもかたい道具をもってきました。それは、このころ日本に住んでいた人びどがはじめて見るものでした。

この黒い道具を使うと、木がけずりやすく、石器でけずるよりもらくにくわやすきをつくることができました。

人びどは、この黒くて、重くて、石器よりもかたく、そして便利な道具を宝ものようにあつかいました。

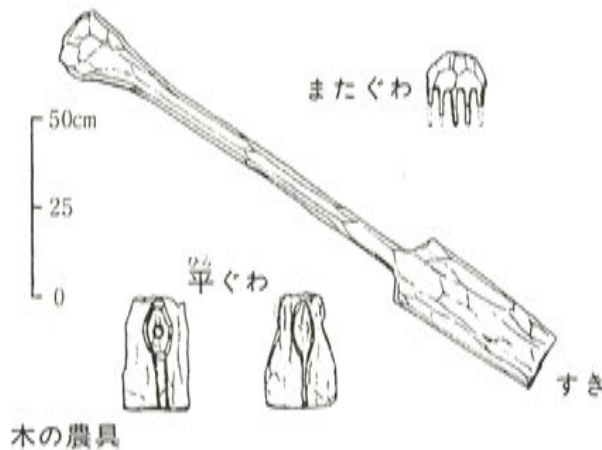




この宝ものを、現在はまとめて「<sup>てつぎ</sup>鉄器」とよんでいます。  
鉄器は、米づくりの技術とともに、アジア大陸から日本に伝わった新しい道具です。

弥生時代のはじめ、鉄器は木の農具をつくるための道具でした。なぜなら、日本ではまだ鉄をつくることができず、わずかな数の鉄器しかなかったからです。

人びとは、かしのなかのたい木をえらび、くわやすきなどの農具をつくりました。

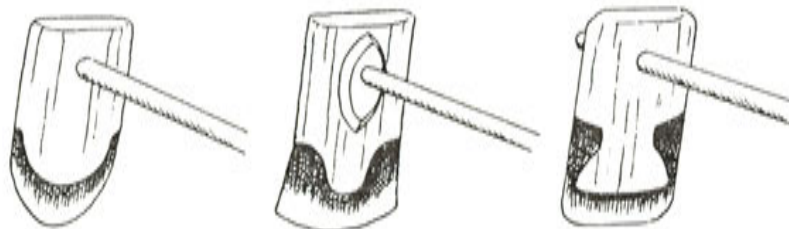


このとき、木の農具鉄器がどれほど役にたったことでしょうか。

**古墳時代の鉄の農具** のちに、日本でも鉄がつくられるようになり、先に鉄の刃<sup>は</sup>をつけたくわやすきなど、新しい農具がたくさんつくられました。鉄の農具がふえると、木だけでつくられた農具や石の農具はすがたを消していきました。弥生時代の終わりから古墳時代のことです。

700年前ごろ

1500年前ごろ



先に鉄が使われたくわ

鉄の農具はらくに土をたがやせ、しかもかたい土を掘ることができたので、しっ地のほかにも田をつくることができました。また、鉄のかまは石ぼうちようよりもずっとはやく稲<sup>いね</sup>をかりとることができました。このため、田の面積

**チェック 木の農具**

木の農具は、こわれやすかったうえに、土をたがやすにもたいへんな<sup>あつらひ</sup>労力が必要でした。

そこで人びとは、土をすくうとか、深く掘るとか、それぞれの目的にあわせた農具をつくり、それを使い分けました。

**チェック 鉄の価値**

大むかし、鉄の少なかつたころ、鉄は宝ものほど価値あるものでした。

日本で鉄がつくられるようになってからも、米などとともに、貨幣<sup>かへい</sup>の役目をしました。

も米の収穫も急げきにふえました。

米の収穫がふえると、一族のかしらがあまった米をたくわえ大きな力をもつようになりました。とくに、鉄器のつくり方を知っていたむらのかしらは、まわりのむらをしたがえ豪族となり、くにをつくるほどになりました。

鉄の農具が米の収穫をふやし、身分の差を生んだのでした。

**広がる鉄の農具** 弥生時代から700～800年のちには、先に鉄の刃をつけたくわやすきは、豪族だけのものではなく、農民のもちものとなるほど多くなりました。

さらに500～700年のちの江戸時代には、刃がすべて鉄でできた備中ぐわが發明されました。

備中ぐわは、くまでのようなかたちをしており、一本一本の刃が細いので土に深くささり、ぬくときも軽くぬけます。そのためはやく深くたがやすことができるようになりました。深くたがやした田畑からは、いっそう収穫がふえました。



### チェック 米の収穫

米づくりのはじめのころ、収穫は、稲の穂先だけをつみとる方法がもちいられていました。これに使われたのが石ぼうちょうでしたね。

### チェック 米の保存

米は、しっ気・害虫・ねずみなどに注意すれば、肉や魚などどちがい、長い間保存することができました。そのため、人びとのくらしは安定してきたのですね。

### ことば くまで

先がくまのつめのようになった、竹や金属でできた道具です。落ち葉かきや穀物を集めるときに使います。



### ミニ・トレーニング

答えはきょうの最後のページ

① 次の〔 〕にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 米づくりの技術とともに、中国や朝鮮から〔 〕が伝わりました。
- (2) 弥生時代のはじめ、鉄器は〔 〕の農具をつくるための道具でした。
- (3) 日本でも鉄がつくられるようになると、先に〔 〕の刃をつけたくわやすきがたくさんつくられました。
- (4) 江戸時代には、刃がすべて鉄でできた〔 〕が發明されました。

よくぼう!





## 考えてみよう？

## 鉄のつくり方

### 渡来人が伝えた技術

中国や朝鮮から鉄のつくり方を伝えたのは、渡来人とよばれる、大陸から来た人びとです。かれらは、漢字や織物などの進んだ技術を身につけていました。

さて、このころは、どうやって鉄をつくったのでしょうか。いまなら最新の設備をもった製鉄所で大量につくられますね。設備らしいものがなかった当時も、つくり方のしくみはあまりかわりませんでした。

### 大むかしの製鉄法

火山国の日本は、世界でも砂鉄の豊富な国です。砂鉄というのは、砂に細くなった鉄がまじっているものです。この砂鉄を原料にして、「野だたら」という製鉄がおこなわれていました。

まず、ねん土で長方形の炉をつくりま  
す。ちょうど  
お風呂くらい  
の大きさです。  
この中に砂鉄



むかしの製鉄法

と木炭をいっしょにいれ、火をつけます。

このとき、じゅうぶんに温度を高くしなければなりません。温度を上げるコツは、空気を送ってやることです。当時は、ねん土を焼いてつくったくたを炉にさして、人が空気をふきこみました。

温度が高くなると、砂鉄のなかから鉄がとけだし、炉の底に鉄のかたまりができます。鉄をとかすのには、三日三晩、火をたかなければなりません。かたまりが大きくなったところで、炉をこわし、それをとり出します。

そして、まだやわらかい鉄のかたまりをかなづちでたたき、いろいろな鉄器をつくったのです。

☞チェック 渡来人が伝えたもの

鉄の武器や農具、織物やとう器のつくり方、建築や土木工事の技術、用水路やため池をつくり、水のないところに水田をひらく方法などがありましたね。

☞チェック 砂鉄の産地

砂鉄は日本各地でとれました。なかでも、中国山地では、良質の砂鉄が豊富にとれたのです。

☞ことば 木炭

木を焼いてつくった燃料のこと（＝炭）をいいます。

いまは、製鉄には、石炭からつくったコークスという燃料を使います。

🍎 日本に鉄が伝わって、それが農具に使われて広がっていったようすがつかめたかな。それにしても、鉄をつくる作業ってたいへんだったんだね。

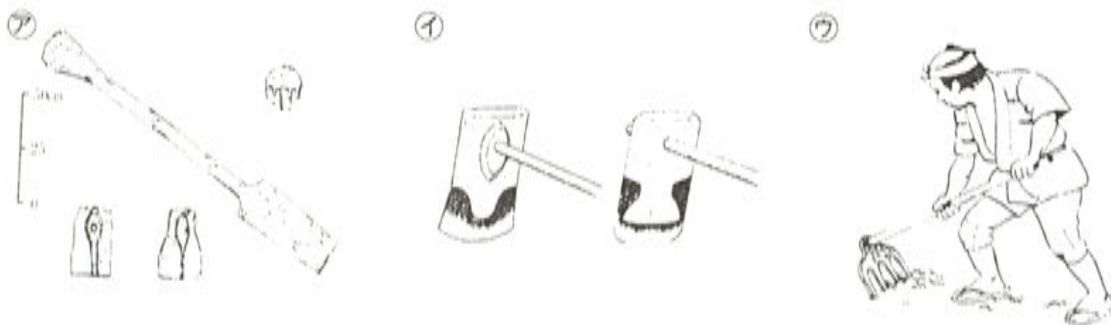
## 🐣🌸 トレーニング 🌸🐣

答えは 7 ページ

1 [ ] にあてはまることばを書き入れなさい。

- (1) 米づくりの技術とともに [① ] や [② ] から鉄器が伝わりました。
- (2) 弥生時代のはじめ、鉄器は、木の [ ] をつくるための道具でした。
- (3) 弥生時代の終わりから古墳時代、日本でも鉄がつくられるようになり、先に [ ] の刃をつけたくわやすきがつくられました。
- (4) 江戸時代には、刃がすべて鉄でできた [ ] が発明されました。

2 次の文は、下の㉗～㉙の絵を説明したものです。あてはまることばを選んで、[ ] に書き入れなさい。



- (1) ㉗の農具は、すべて木でつくられています。これらは、[ ] を使ってつくられました。
- (2) 日本でも鉄がつくられるようになると、㉘のような農具がつくられました。くわの先には、[① ] がついています。これを使うと [② ] もたがやすことができたので、田の面積も米の収穫もふえました。
- (3) [① ] 時代になると、刃がすべて鉄でできた、㉙のような [② ] くわが発明されました。このくわは、広く農民に使われました。

鉄器 備中 かたい土 江戸 鉄の刃

🍎 答え合わせがすんだら、次はまどめのトレーニングだよ。


**3** 次の問いに答えなさい。

- (1) 弥生時代のはじめ、まだ日本で鉄をつくれなかったころ、鉄器はどのような道具に使われましたか。 [ ] 道具
- (2) 弥生時代の終わりころ、日本でも鉄がつくられるようになると、新しい農具がつくられました。それは、いままでのものとどのようにちがいましたか。  
[ ]
- (3) 江戸時代になると備中ぐわが発明されました。備中ぐわとは、どのような刃をもったぐわですか。 [ ]

**4** てきとうなことばや数字を選んで、[ ] に書き入れなさい。

- (1) 西日本で米づくりが始まっていた、今からおよそ〔① 〕～〔② 〕年前に、鉄器が伝わりました。
- (2) はじめ、鉄器は〔① 〕をつくるための道具でした。なぜなら、日本ではまだ〔② 〕をつくることができなかったからです。
- (3) 弥生時代の終わりから古墳時代、鉄の農具がふえると、木だけの農具や〔 〕の農具はすがたを消していきました。
- (4) 鉄の道具は、らくに土をたがやし、かたい土も掘れたので、〔① 〕のほかにも田をつくることができました。このため、田の面積も〔② 〕もふえました。
- (5) 米の収穫がふえると、あまった米をたくわえたむらのかしらが大きき力をもつようになりました。〔① 〕が生まれたのです。とくに、鉄器のつくり方を知っていたかしらは、まわりのむらをしたがえ、〔② 〕をつくるほどになりました。

身分の差    しつ地    鉄    2200    2300    くに    米の収穫  
石    木の農具

 これで4月号の学習は、すべて終わりだよ。よくがんばったね。

月ミニ・トレーニングの答え

- ① (1)鉄器 (2)木 (3)鉄 (4)備中ぐわ



# トレーニングの答え

## 第1日

### 〈トレーニング〉

1 (1)本 (2)歴史 (3)日本 (4)世の中

2 I群・①やじり ②土器 ③城  
II群・①イ ②ウ ③ア

3 (1)①やじり ②土器 (2)①本 ②記念碑 ③くらし (3)①努力 ②日本 (4)①幸せ ②歴史

### 考え方

第1日は、歴史とわたしたちのくらしのつながりと、なぜ歴史を学ぶのかということがつかめればいいですよ。

### 〈まとめのトレーニング〉

4 (1)やじり (2)城 (3)歴史 (4)努力 (5)世の中

## 第2日

### 〈トレーニング〉

1 (1)年表 (2)時代 (3)西暦 (4)紀元元年 (5)世紀

2 (1)4世紀から7世紀 (2)古墳時代から飛鳥時代 (3)593年 (4)遣隋使を送る、法隆寺を建てる

### 考え方

まだ学習していないところの年表ですが、年表をよく見て、読みとることができるようにしましょう。

3 (1)時代 (2)西暦 (3)世紀 (4)①1901 ②2000 (5)7世紀

4 (1)西暦 (2)紀元前 (3)①元号 ②平成

5 (1)時代は、歴史の流れを持ちょうのある期

間ごとに区切ったものをいう (2)世紀は、西暦紀元元年から、100年ごとを区切りとした数え方をいう (いい方が少しちがってもかまいません) (3)3世紀

### 〈まとめのトレーニング〉

6 (1)西暦 (2)時代 (3)世紀 (4)西暦401年から500年まで

7 学習しよう📖にある歴史年表を参照

## 第3日

### 〈トレーニング〉

1 (1)化石 (2)野尻湖人

2 (1)ナウマン象 (2)かり (3)アジア大陸 (4)1万年

3 (1)ナウマン象 (2)ナウマン象、おおつのじか (順序が逆でもかまいません) (3)今から3万年以上もむかし (4)石、骨 (5)野尻湖人 (6)かり (7)陸つづきだった (8)アジア大陸

4 (1)①ナウマン象 ②道具 (2)①3 ②かり (3)①アジア大陸 ②人間 (4)野尻湖人

5 (1)(2)(3)(4)地図参照

(5)アジア大陸にいたナウマン象の化石が見つかったから (6)石や骨でつくった道具が見つかったから

### 考え方

作業問題も

きちんとやりましょう。ところで、野尻



湖人が活動していたのは、3万年以上もむかしということですが、もっと古い時代のことではないかという意見もあります。

〈まとめのトレーニング〉

- 6 (1)3万 (2)道具 (3)陸つづき (4)日本列島
- 7 (1)ナウマン象、おおつのじか(順序が逆でもかまいません) (2)石や骨でつくった道具 (3)アジア大陸 (4)(アジア大陸と日本列島が)陸つづきだったから
- 8 ①ナウマン象 ②石 ③3 ④かり ⑤1

第4日

〈トレーニング〉

- 1 (1)貝塚 (2)石器 (3)土器 (4)鳥浜
- 2 (1)貝塚 (2)石器 (3)土器
- 3 (1)骨 (2)木 (3)鳥浜貝塚
- 4 (1)漁 (2)木の実 (3)平等
- 5 (1)①山 ②漁 (2)木の実 (3)かり (4)平等 (5)住まい
- 6 (1)かりや漁をしていた (2)みんなで力を合わせて行った (3)平等に分け合った

考え方

貝塚からは、どんなものが見つかるか、また、そこからどんなことがわかるかを、頭のなかにしっかり整理しておきましょう。

〈まとめのトレーニング〉

- 7 (1)貝塚 (2)石器 (3)土器 (4)福井県 (5)漁 (6)木の実 (7)平等 (8)住まい
- 8 (1)大むかしの人びとが食べた貝のからやご

みをすてたところ (2)鳥浜貝塚 (3)かりや漁をしていた (4)木の実 (5)みんなで力を合わせて行った (6)食べ物が少なくなったとき(いい方が少しちがっていてもかまいません)

- 9 (1)やじり (2)つりばり (3)もり (4)おの

- 10 ①貝塚 ②道具 ③かり

第5日

トレーニング

- 1 (1)たてあな住居 (2)縄文土器 (3)縄文時代 (4)1万年
- 2 (1)たてあな住居 (2)縄文土器 (3)縄文時代 (4)今からおよそ1万年前に始まり、約8000年間続いた。
- 3 (1)①地面 ②草 ③かり ④平等 (2)①ねん土 ②なわ ③たてあな住居 ④縄文時代 ⑤8000年
- 4 (1)①たてあな住居 ②縄文土器 (2)地面を掘って柱を立て、木のえだや草をかぶせた (3)(赤黒くあつみがあり)表面になわをおしつけたようなもようがある(いい方が少しちがっててもかまいません) (4)かりや漁 (5)縄文時代 (6)今からおよそ1万年前 (7)約8000年間

考え方

縄文時代が始まったのは、現在のようないま日本列島ができた1万年前ごろからです。

〈まとめのトレーニング〉

- 5 (1)たてあな住居 (2)なわ (3)縄文時代 (4)8000年
- 6 (1)かりや漁をしていた (2)縄文土器 (3)たてあな住居 (4)縄文時代
- 7 ①1万年 ②平等 ③石器 ④たて

あな住居

**考え方**

縄文時代の特色をしっかりとつかんでおきましょう。

**復習をしよう** 第3日から第5日

問1 (1)1万年 (2)貝塚 (3)かり (4)縄文土器 (5)8000年

問2 (1)ナウマン象、おおつのじか(順序は逆でもかまいません) (2)石や骨などでつくった道具が見つかったから (3)鳥浜貝塚 (4)①

問3 (1)たてあな住居 (2)縄文土器 (3)縄文時代 (4)かりや漁 (5)平等に分け合っていた

問4 (1)今からおよそ1万年前 (2)縄文時代 (3)約8000年間 (4)貝塚

**第6日**

**〈トレーニング〉**

① (1)水田のあと (2)しっ地 (3)木 (4)石ほうちょう (5)中国 (6)東北 (7)1800年

② (1)登呂遺跡 (2)水田のあと (3)田げた (4)今からおよそ2300年前 (5)中国や朝鮮(アジア大陸でもかまいません) (6)九州北部 (7)今からおよそ1800年前

③ (1)中国 (2)朝鮮 (3)米づくりの技術 (4)地図参照 (5)静岡市



**考え方**

いつごろ、どこから米づくりの技術が伝わったのかおさえておきましょう。また、代表的な遺跡の場所も覚えておきましょう。

④ (1)①田げた ②石ほうちょう (2)どろに足をとられないため (3)実った稲の穂をつみとるため(いい方が少しちがってもかまいません) (4)今からおよそ2300年前 (5)登呂遺跡

⑤ (1)①くい ②あせ道 (2)くわ (3)①朝鮮 ②西日本 (4)①登呂遺跡 ②1800年

**〈まとめのトレーニング〉**

⑥ (1)静岡市 (2)石ほうちょう (3)九州 (4)登呂遺跡

⑦ (1)水田のあと (2)今からおよそ2300年前に、中国や朝鮮(アジア大陸)から伝わった (3)九州北部に伝わり、東北地方にまで広がっていった (4)石ほうちょう、田げた(順序は逆でもかまいません。またくわやすきと答えても正解です) (5)かりや漁

⑧ (1)縄文時代が始まる (2)米づくりの技術が伝わる (3)登呂に水田ができる



第7日

〈トレーニング〉

- 1 (1)たてあな住居 (2)高床式倉庫 (床の高い倉庫でもかまいません) (3)低地 (4)むら

考え方

高床式倉庫たかあしきそうこといういい方は、少しむずかしいかもしれませんが、床の高いつくりの倉庫のことだと覚えてしまいましょう。

- 2 (1)たてあな住居 (2)高床式倉庫 (3)むら

- 3 (1)①米 ②ねずみ (2)住まい (3)①台地 ②むら

- 4 (1)鉄器 (2)青銅器 (3)弥生土器

- 5 (1)鉄器 (2)鉄器 (3)青銅器 (4)弥生土器 (5)弥生時代 (6)3世紀

- 6 (1)中国や朝鮮 (2)弥生土器

- 7 (1)①農具 ②祭り (2)①弥生土器 ②縄文土器 (3)弥生時代

まとめのトレーニング

- 8 (1)高床式倉庫 (2)むら (3)鉄器 (4)弥生土器 (5)弥生時代

- 9 (1)高床式倉庫 (2)米 (3)地面からのしっ気で米をくさらせないため (4)水田がつくりやすいように、低地へ住みつくようになった (5)大ぜいの人びとがいっしょに住みつくようになって、むらが各地にできた (いい方が少しちがってもかまいません) (6)今からおよそ2200～2300年前

考え方

米づくりが始まって、人びとの住まいは低地へ移り、大ぜいで住むようになってむらが各地にできたのですね。

- 10 (1)弥生土器 (2) (赤みがかった色で) 形のととのった、うすくてかたい土器 (3)中国や朝鮮 (4)①弥生時代 ②2200～2300 ③3 (5)鉄器、青銅器 (順序が逆でもかまいません)

- 11 ①米づくり ②むら ③木製 ④青銅器 ⑤たてあな住居

考え方

中国や朝鮮ちようせんから、米づくりの技術、進んだ土器どきのつくり方、鉄器や青銅器せいどうきが伝わりました。

第8日

〈トレーニング〉

- 1 (1)貧富 (2)かしら (3)むら (4)くに (5)吉野ヶ里 (6)豪族

- 2 (1)貧富、身分(順序が逆でもかまいません) (2)かしら (3)くに (4)豪族

- 3 (1)①むら ②水田 ③祭り (2)①弱い ②地域 ③戦い ④豪族

考え方

むらのなかに、かしらを中心に貧富ひんぶと身分の差ができてきました。さらに、むらどうしても強いむらと弱いむらができて、強いむらがしだいに大きくなり、くにになっていったのですね。

- 4 (1)奴国 (奴の国と書いてもかまいません) (2)博多湾 (3)邪馬台国 (4)卑弥呼

考え方

卑弥呼ひみこは、むずかしい漢字ですね。あとのトレーニングでは、ひみことかヒミコと書いても正解にします。

- 5 (1)奴国 (2)金印 (3)邪馬台国 (4)卑弥呼

- 6 (1)1世紀の中ごろ (2)3世紀ごろ (3)弥生時代の終わりごろ (4)中国

〈まとめのトレーニング〉

7 (1)身分 (2)かしら (3)くに (4)吉野ヶ里 (5)奴国 (6)邪馬台国

8 (1)①弱い (2)くに (3)かしら (4)豪族 (5)貧富 (6)身分 (5⑥は順序が逆でもかまいません) (2)むら (3)くに

9 (1)邪馬台国 (2)弥生時代 (3)中国の歴史の本 (4)卑弥呼

考え方

邪馬台国をとおして、弥生時代のくにのようすをつかんでおきましょう。

10 (1)①縄文 (2)かり (3)移り住んで (2)①米づくり (2)弥生 (3)住みついて (4)貧富 (5)くに (6)邪馬台国

11 (1)米づくりの仕事をさしずする、豊作をいのる祭りをを行う (順序が逆でも、いい方が少しちがっていてもかまいません) (2)豪族 (3)1世紀の中ごろ (4)博多湾 (5)3世紀ごろ (6)中国の歴史の本

復習をしよう 第6日から第8日

問1 (1)水田のあと (2)中国 (3)むら (4)くに (5)弥生土器 (6)3世紀

問2 (1)登呂遺跡 (2)米づくりの技術 (3)今からおよそ2300年前 (4)鉄器

問3 (1)収穫した米をたくわえておくため (2)弥生土器 (3)弥生時代 (4)低地に大ぜいで住みつくようになった (いい方が少しちがっていてもかまいません) (5)米づくりの仕事をさしずする、豊作をいのる祭りをを行う (順序が逆でも、いい方が少しちがっていてもかまいません)

問4 (1)弥生時代 (2)豪族 (3)博多湾 (4)邪馬台国

第9日

〈トレーニング〉

1 (1)古墳 (2)前方後円墳 (3)大山古墳

2 (1)古墳 (2)前方後円墳 (3)はにわ

3 (1)古墳 (2)前方後円墳 (3)はにわ (4)古墳のまわり (5)①大山古墳 (2)⑦石 (1)人 (7)鏡

4 (1)古墳 (2)古墳時代 (3)近畿

5 (1)前方後円墳 (2)4世紀から6世紀 (3)豪族(たち) (4)豪族がカの大きさを人びとにしめすため (5)近畿地方

6 (1)①大き (2)近畿 (3)小さ (4)九州 (2)①近畿 (2)近畿

考え方

くにのかしらである豪族は、大きな古墳をつくるまでになったのですね。弥生時代から古墳時代へと時代は変わってきました。

まとめのトレーニング

7 (1)豪族 (2)前方後円墳 (3)はにわ (4)4世紀 (5)近畿

8 (1)4世紀から6世紀ごろ (2)古墳時代 (3)豪族がカの大きさを人びとにしめすため (4)前が方形(四角形)で、後ろが円形の古墳 (いい方が少しちがっていてもかまいません) (5)近畿地方

9 ①多くの人びと (2)カ (3)はにわ (4)まが玉

考え方

古墳から見つかったものについても、注意しておきましょう。

## 第10日

### 〈トレーニング〉

- 1 (1)大和朝廷 (2)大王 (3)4世紀
- 2 (1)奈良県 (2)大和朝廷 (3)4世紀のはじめ (4)九州地方から東北地方南部まで (5)大王 (6)天皇

#### 考え方

前方後円墳びんぽうこうえんふんの広がりど、大和朝廷やまとちやうていの勢力の広がりがいっちしていることに注意しましょう。

- 3 (1)渡来人 (2)大陸文化 (3)漢字 (4)仏教 (5)儒教

#### 考え方

中国ちゆうぐんや朝鮮ちゆうせんなど、アジア大陸わたくから渡ってきた人びとを渡来人とらいじんといいます。渡来人ということばは、少しむずかしいかもしれませんが、覚えてしまいましょう。

- 4 (1)渡来人 (2)中国や朝鮮 (3)大陸文化 (4)漢字 (5)5世紀ごろ (6)仏教 (7)儒教

- 5 (1)①鉄 (2)土木工事 (3)水田 (2)①技術 (2)大和朝廷 (3)①シャカ (2)政治

### 〈まとめのトレーニング〉

- 6 (1)大和朝廷 (2)大王 (3)4世紀 (4)渡来人 (5)漢字 (6)仏教 (7)儒教

- 7 (1)4世紀のはじめ (2)①奈良盆地 (2)大和 (3)奈良盆地の(力の強い)豪族たち (4)九州地方から東北地方南部まで (5)前方後円墳 (6)地図参照



- 8 (1)中国や朝鮮 (2)渡来人 (3)漢字 (4)①儒教 (2)仏教 (5)鉄の武器や農具のつくり方、建築や土木工事の技術(順序は逆でもかまいません) (6)中国や朝鮮から、進んだ大陸文化をさかんにとり入れたため(いい方が少しちがってもかまいません)

#### 考え方

渡来人とらいじんの伝えたものは、つかめましたか。こうした進んだ大陸文化を、積極的にとり入れた大和朝廷やまとちやうていが、日本を統一することができたのです。

- 9 ①4世紀 (2)前方後円墳 (3)大陸文化 (4)東北

### 復習をしよう 第9日から第10日

- 問1 (1)古墳 (2)前方後円墳 (3)はにわ (4)大和朝廷 (5)渡来人

- 問2 (1)古墳時代 (2)奈良県 (3)大陸文化 (4)儒教 (5)仏教

#### 考え方

古墳時代こふんの特色をつかんでおきましょう。

## 第11日

### 〈年表トレーニング〉

- 1 ①日本列島 (2)朝鮮 (3)鉄器 (4)登

呂 ⑤大和朝廷 ⑥漢字

**考え方**

4月号の学習のポイントを、年表にまとめてあります。〔 〕に、ことばがすぐ書けましたか。歴史の流れをきちんとつかんでおきましょう。

**〈完成トレーニング〉**

問1 ①米づくり ②平等 ③低地

④むら ⑤木製 ⑥縄文土器

⑦青銅器

**考え方**

縄文時代と弥生時代をくらべた表です。米づくりが広がっていったことで、暮らしがどう変わったか考えてみれば、ちがいがすぐわかりますね。

問2 (1)貝塚 (2)①たてあな ②縄文

(3)①登呂 ②1800 ③米 (4)①低地

②くに (5)①豪族 ②前方後円

問3 ①弥生土器(弥生時代) ②前方後円

墳(古墳時代) ③田げた(弥生時代)

④はにわ(古墳時代) ⑤高床式倉庫(弥

生時代) ⑥縄文土器(縄文時代)

**考え方**

代表的なものの名前は、絵を見てわかるようにしておきましょう。また、どの時代のものか結びつけておきましょう。

問4 (1)①身分 ②くに ③大王 ④九州

(2)邪馬台国 (3)大和朝廷 (4)前

方後円墳 (5)渡来人 (6)仏教

**考え方**

登呂のような小さなむら、吉野ヶ里のよ  
うな大きなむら、または小さく、奴  
国のような小さく、邪馬台国のような  
大きなく、そして大和朝廷による國  
のまとまり……この広がりがわかってい  
れば、かんたんですね。

問5 (1)野尻湖 (2)福井県 (3)静岡県

(4)5世紀 (5)奈良県

**考え方**

⑦の野尻湖は、長野県北部にある湖です。  
①の鳥浜貝塚は縄文時代の暮らしを伝える  
遺跡ですね。⑧の登呂遺跡は、弥生時  
代の暮らしを伝える遺跡です。⑨の稲荷  
山古墳は、埼玉県にあります。④は、む  
かしは大和とよばれていました。

**もっと学習しよう**

**〈トレーニング〉**

1 (1)①中国 ②朝鮮 (①と②の順序は逆で  
もかまいません) (2)農具 (3)鉄  
(4)備中ぐわ

2 (1)鉄器 (2)①鉄の刃 ②かたい土  
(3)①江戸 ②備中

**〈まとめのトレーニング〉**

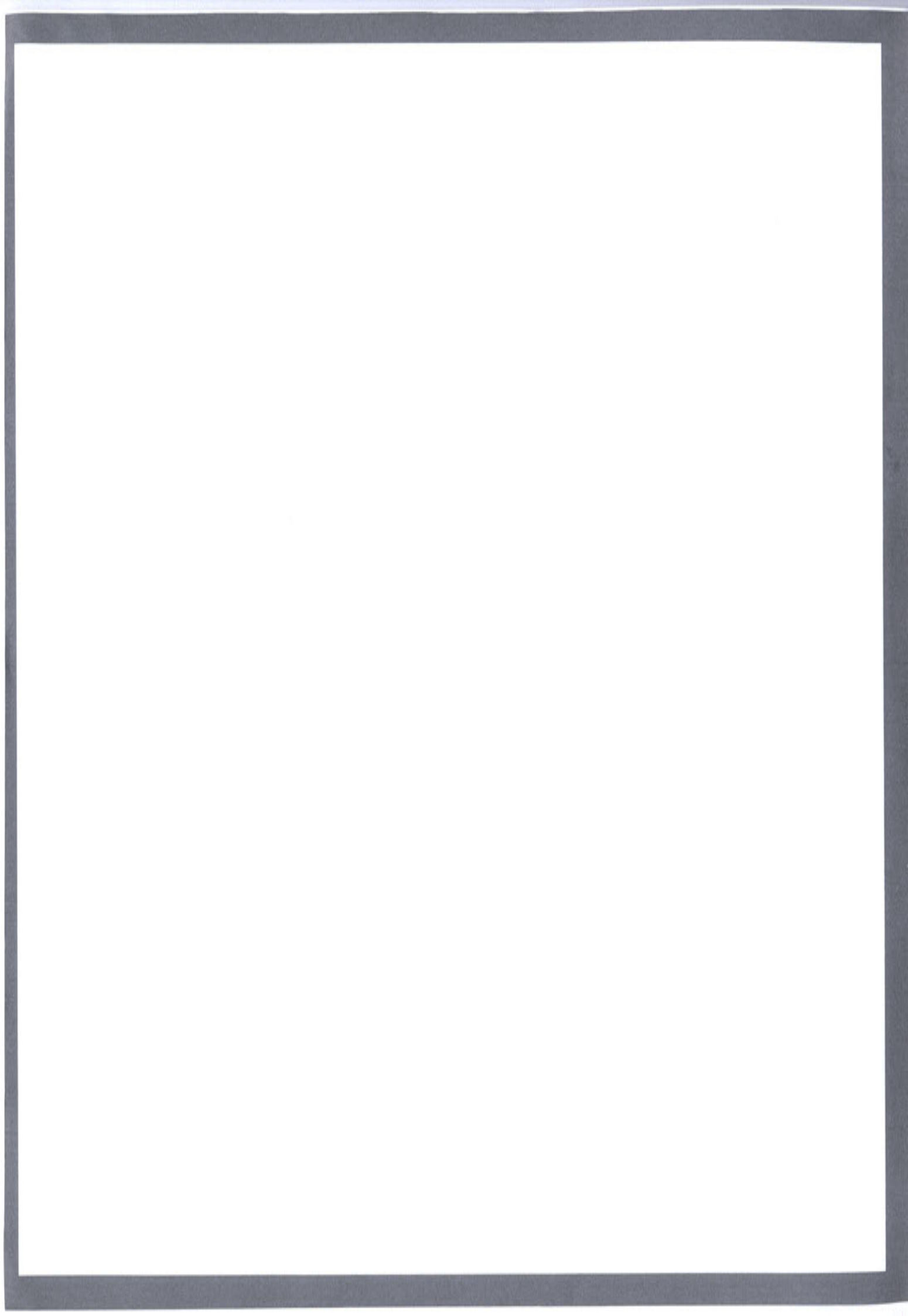
3 (1)木の農具をつくるための (2)鉄の刃が  
ついていた (3)くまでのような形をし  
ていて) すべて鉄でできている刃 (いい方  
が少しちがってもかまいません)

4 (1)①2200 ②2300 (2)①木の農具  
②鉄 (3)石 (4)①しっ地 ②米の収  
穫 (5)①身分の差 ②くに

**考え方**

鉄の農具をとりあげて、歴史をもっと学  
習してみました。このように、何か1つ  
のものをとりあげて、歴史を調べてみる  
とおもしろいですよ。







**教育社**

**トレーニングペーパー**  
小学6年 / 社会